

NettyLand

<https://www.netty.ne.jp/>

私立中高一貫校の魅力がわかるフリーマガジン

かわら版



2025
10



写真：実践女子学園中学校

特集 大学付属校の魅力

Netty Special Report 実践女子学園中学校

NettyReport

桐光学園中学校／駒込中学校／東京家政大学附属女子中学校／共立女子中学校／日本大学豊山中学校
千葉日本大学第一中学校／日本大学藤沢中学校／日本大学第三中学校／東洋大学京北中学校
芝浦工業大学附属中学校／立正大学附属立正中学校／国学院大学久我山中学校

エリア特集：埼玉北部・西部／西東京エリア

本庄東高等学校附属中学校／武蔵野大学中学校／東京農業大学第三高等学校附属中学校
星野学園中学校／城北埼玉中学校／桐朋中学校／工学院大学附属中学校／東京電機大学中学校
桜美林中学校／明治大学付属明治中学校／明星中学校／東星学園中学校／聖徳学園中学校
晃華学園中学校／白梅学園清修中学校／共立女子第二中学校



Facebookもチェック
<https://fb.me/NettyLand.ai2010>
X(旧Twitter)もチェック
@NettyLand_ai



実践女子学園中学校

【学校HP】 <https://hs.jissen.ac.jp>

〒150-0011 東京都渋谷区東1-1-11 Tel.03-3409-1771

最寄駅/JRなど「渋谷駅」徒歩10分。メトロ銀座線千代田線

半蔵門線「表参道駅」徒歩12分。

「渋谷駅」から都営バス「国学院大学前」。

学校HP



LINE公式



Instagram公式



校長の湯浅茂雄先生

「日本を知り、世界を知る」 海外提携校との交流を中心に 多彩なグローバル教育を展開

「感性表現教育」「グローバル教育」「探究教育」の三本柱を軸に、日本文化の理解から海外研修まで幅広い学びを体系化している実践女子学園。海外大学への進学実績も毎年生まれるなど、多様なプログラムを通じて、生徒は自分の可能性を大きく広げています。

中高大連携特集は4ページ、クラブ活動は裏表紙をご覧ください

グローバル教育の出発点は 日本文化を知ること

本校では「日本のことを知らずして、真のグローバルはない」と考えています。そのため、グローバル教育の出発点は日本文化を学ぶこと。中学1年では「日本文化実習」が必修で、茶道・華道・箏曲・和装着付・仕舞の中から一つを選択し、専門の先生から本格的に学びます。「日本文化を学んだことで、異文化への関心も高まった」という声が多く、帰国子女の生徒にとっても、日本文化を体系的に学べる機会は貴重で、「海外で日本を紹介できる力になる」と好評です。帰国生や英語上級者を対象にしたかつての国際学級で蓄積したノウハウを活かし、全クラスで同等のプログラムを展開しています。

世界の一流大学との協定を生かした高難度プログラムも

夏休みにネイティブ教員が英語だけで指導する特別講座では、絞り染めを学びました。中学生に人気なのが「イングリッシュサイエンスキャンプ(3日間)」です。火山や宇宙といったテーマを毎年変えて取り組み、今年のテーマは「音」。山梨県八ヶ岳清里高原で自然の音を採集し、音楽の先生とともに作曲に挑戦しました。学んだことを英語で発表。英語で「学ぶだけでなく、STEAM教育にも触れることで、英語力に加え、科学や技術への関心を高められます。

グローバル教育部を中心に多彩な海外研修を体系的に整備している本校では、ネイティブ教員による

「新校舎は私たちがつくる！」 生徒、教員、建設会社を交えたワークショップを開催！

学校説明会等の情報は
裏表紙をご覧ください

2028年4月に完成する新校舎の建設に先立ち、生徒たちの意見を建設に取り入れるワークショップが行われました。

当初の予想では実際に校舎を使うことになる中学生の参加が多いと見込んでいましたが、高校生の参加が大半となりました。高校生が学校に愛着を持っていること、また長く生活するなかでの気付きを後輩のために生かそうとする様子を感じられました。

ワークショップには生徒と教員はもちろん、建設会社である東急建設株式会社の社員も参加しました。生徒たちの自由な発想に、ときには大きくうなずき、ときには驚いている様子でした。

実践女子中高ではこのほかにも東急株式会社による「渋谷再開発ツアー」を実施するなど、校舎建設が生徒たちの学びのきっかけとなるよう、さまざまな取り組みを行っています。





グローバル教育の出発点である日本文化実習。多様な文化を理解し尊重する姿勢も身につく



イングリッシュサイエンスキャンプでの活動風景。科学と音楽を組み合わせた学びに挑戦



模擬国連で議長を務める生徒。全国大会の受賞を経てニューヨークの国際大会に参加した実績も



ユネスコスクールとして生徒交流を行う海外研修。ニュージーランドでサステナビリティについて学ぶ

る放課後講座を含むプログラムに今年240名以上の応募がありました。探究教育も重視し、インプットだけでなく必ず発表や表現の場を設定。学んだことを相手に伝えることで、思考力や表現力が一層深まります。

中学3年のブリスベン研修(1日間)では、異文化交流をテーマに現地のバディとペアを組み、共同発表を行います。高校1年・2年の希望者が参加するモートンベイ研修(14日間)では、船上での海洋学習を通じて生態系を理解し、自然と科学への関心を深めます。中学3年から高校2年を対象としたニュージーランド研修(16日間)では、同じユネスコスクールの女子校との交流を通じて、サステナビリティを探究します。さらに、アントレプレナーシップ先進国エストニアでの12日間の研修も準備されています。学園創

海外進学アドバイザーが学校選びから試験まで徹底サポート

グローバル教育は進路選択にもつながっています。毎年、海外大学

立者である下田歌子のアントレプレナー精神を受け継ぎ、未来の社会をつくる生徒たちに向けたプログラムです。

ハイレベルな学びの場として、イギリスのケンブリッジ大学やUCLとの連携によるサマースクールでは、世界の教授陣から直接講義を受けられます。通常は選考が必要ですが、本校は協定を結んでいるため優先的に参加できます。高校1年・2年を対象としたアデレード短期留学(10週間)は、現地校に通いながら学ぶ本格的な留学であり、将来の進学やキャリアを考える上で大きな経験となっています。

を目指す生徒がいいますが、専門資格を持つ海外進学アドバイザーが在籍しており、カウンセリングや英語試験対策を受けられるので、安心して挑戦できるでしょう。アデレードへ留学した生徒が、その経験を通じて学びたい分野を見つけ、今年の9月から現地の大学へ進学しました。グローバル教育プログラムが進学へと結びついた良い例だと考えています。

本校の生徒は優しく素直なのですが、私はそこに、枠を破って前に進む「尖った部分」が加わってほしいと思っています。まだ本当の自分に出会っていない生徒も多いでしょう。だからこそ、多様な環境に身を置き、異なる立場で物事を見つめるグローバル教育の意義があります。本校で自分の可能性を見つけ、夢に向かって大きく羽ばたいていくことを願っています。

NEWS & TOPIX

山崎製パンとの共同開発 実践女子オリジナルランチパック

山崎製パン株式会社の協力の下、中高生がランチパックのフィリングを考えるJJランチパックプロジェクトは、今年で3年目を迎えました。

1年目は校祖が好んで食べた「リンゴ」を入れたもの、2年目はその名前「歌子」をもじった「う〜タコス」味など、フィリングを考える際は味やコストだけではなく「学園とかかわり」も大事にしてきた生徒たち。今年は生徒に人気の制服のネクタイの色に注目し、中学生の臍脂(えんじ)色をモチーフにした「赤のパスタ」と高校生の黒色をモチーフにした「黒のカレー」と、初めて2味が入った商品となりました。

また、今まではオーディションに勝ち上がった有志1チームのみが開発に参加していましたが、今年は他の応募チームが販売戦略の担当として、パッケージデザインやSNSでの発信などを行っています。商品は「ときわ祭」で先行発売の後、関東エリアのスーパー等で一般発売されます。



山崎製パン株式会社と同校がコラボしたオリジナルランチパック。今年の「ときわ祭」でも大好評!



実践女子学園 中高大連携特集



単位取得や大相撲ボランティアへの参加など 学園内で多彩な中高大連携が実現

実践女子学園中高では、併設大学である実践女子大との連携が大きく進んでいます。大学のキャンパス見学は高校1年・2年の全生徒が参加。模擬授業を経験したり、カフェテリアを利用したりすることで、「大学で学ぶ」イメージを持つことができます。

また、科目等履修制度によ

修することができます。単位認定も可能で、取得した単位は他大学でも利用できます。大学のもつリソースの活用も進んでいます。高校生は大学の図書館が利用でき、中高と合わせると渋谷キャンパスだけで三十万冊の図書にアクセスできます。

大学生との交流では、大学

ゼミと一緒に渋谷のコミュニティラジオに出演するほか、大学が日本相撲協会と連携していることから、大学生とともに大相撲ボランティアとして、大相撲グッズの販売促進の手伝いなどを行っています。

このように、個人ではでき

高大プログラムに参加した生徒の感想



大相撲5月場所ボランティアに参加しました!!

5月18日に、高大連携の一環として大相撲5月場所のボランティアに参加しました！私は相撲グッズの販売補助を行い、品出しやお客さんからの質問対応をしました。お客さんから商品の場所を聞かれたときはちゃんと答えられるかな不安でしたが、何度かやり取りを重ねるうちにお客さんと仲良くなり、相撲のお話も聞けました。また作業の合間に、大学生の方からいろいろとお話を聞くことができ、自分のやりたいことを大学で学び、楽しそうに話す姿がとてもかっこよく感じられ、自分も将来そうなりたと思いました。

活動の最後には、実際に相撲を観戦しました。初めて会場で相撲を見ましたが、テレビで見るとは違う臨場感があり、相撲の奥深さを感じることができました！とても貴重な経験で、楽しかったです！

(M.Y.さん/高2)



実践女子大学の授業を履修しました!!

私はジェンダー問題に興味があり、この勉強のために実践女子大学の科目履修制度を利用しました。高校生から大学の授業を受けることで、大学の雰囲気や早くから知るだけでなく、高校生のうちに学問的に興味のある分野を発見できたことはとても貴重な経験だったと思います。また、大学の教授と話す機会も何度か得られるため、大学教授という職業に憧れたのも科目履修生度がきっかけです。

また現在通っている大学でも、このとき履修した科目が単位として認定されることも魅力の1つです。

(A.T.さん/卒業生)





参加者に
学校の説明



一流の教授陣の
講義を体験！



スポーツで
アイスブレイク



英国学生と
グループ
ワーク



2名がレポート
で表彰！

進む海外大との連携 UCL・ケンブリッジ研修

ーケンブリッジ大との教育連携とプログラム参加

実践女子学園は、校祖下田歌子が英国留学中に学んだことが縁となり、ケンブリッジ大学ヒューズホールカレッジと教育連携の協定を結びました。これにより、高校生のサマースクールへの優先参加が認められています。この研修はケンブリッジ大・UCLの学生寮に滞在し、同大を含む世界トップクラスの講師陣の講義を体験するとともに、一緒に参加しているイギリスの学生たちと意見交換を行うものです。

参加した生徒の声

講義を通して科学技術の発展や宇宙実験について知ることができ、とても興味深かったです。ワークショップでは、イギリスの参加者と英語でグループワークをしました。不安でしたが、知っている単語を使って意見を伝えてみました。すると相手が「いいアイディアだね」と言って、私の意見を英語でまとめてくれたのです。その経験から、伝えようとするものの大切さを学びました。

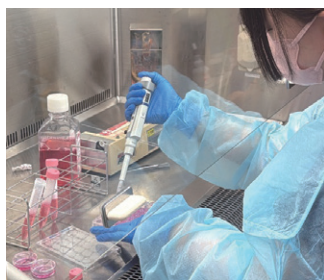
(R.K.さん／高2)



(C.O.さん／高1)



特に印象的だったのは、イギリスの学生が幅広い知識を持っていることです。疑問に感じたことを次々と質問し、理解を深めようとする彼らの姿から、興味を持って学習することの大切さを学びました。また、ケンブリッジ大学のヒューズホールカレッジも訪ねました。校祖下田歌子先生の足跡が今も語り継がれていて、実践生として誇りに思うとともに感銘を受けました。



期間中はオープンキャンパスや発表会もあり、最終日には学長から修了証をいただきました。

芝浦工業大学との高大連携により、大学の設備を使った研究に触れられるだけでなく、協定校推薦制度を利用して受験することも可能です。さらに、電気通信大学や日本赤十字看護大学との連携も始まり、本校では理系を志す生徒が年々増加しています。

生徒からは「建築に興味があり、今回の体験で関心が深まった」「高校では体験できない学びができた」などの声が寄せられました。



理系学部学科との高大連携も！
芝浦工業大学との連携により
広がる可能性

Feature

12 大学付属校の魅力

Netty Special Report

2 4 52 実践女子学園中学校

Netty Report

- 10 桐光学園中学校
- 14 東京家政大学附属女子中学校
- 16 日本大学豊山中学校
- 18 日本大学藤沢中学校
- 20 東洋大学京北中学校
- 22 立正大学付属立正中学校

- 11 駒込中学校
- 15 共立女子中学校
- 17 千葉日本大学第一中学校
- 19 日本大学第三中学校
- 21 芝浦工業大学附属中学校
- 23 国学院大学久我山中学校

Event Feature

24 埼玉北部・西部／西東京エリア

- 26 本庄東高等学校附属中学校
- 30 東京農業大学第三高等学校附属中学校
- 32 城北埼玉中学校
- 34 工学院大学附属中学校
- 36 桜美林中学校
- 38 明星中学校
- 40 聖徳学園中学校
- 42 白梅学園清修中学校
- 28 武蔵野大学中学校
- 31 星野学園中学校
- 33 桐朋中学校
- 35 東京電機大学中学校
- 37 明治大学付属明治中学校
- 39 東星学園中学校
- 41 晃華学園中学校
- 43 共立女子第二中学校

Regulars

- 8 Netty Map
- 44 参加校ニュース



【表紙の写真】 実践女子学園中学校

キャンパスは渋谷駅から徒歩10分、表参道駅から徒歩12分。渋谷にありながらも緑が多い、閑静な文教地区に立地。2万5000㎡という広い敷地の中には、4棟の校舎と3つの多目的体育施設を有する体育館、人工芝のグラウンド等があります。この度校舎の1つ（写真の左）の建て替えが決定し、2028年4月の完成に向け、新校舎建設に生徒の意見を取り入れるワークショップや渋谷再開発の現場を見学するツアーなどを実施しています。表紙の写真は建て替える校舎の屋上で撮影。背景に写る渋谷の街とともに、学校も進化を続けています。

進学レーダー

志望校選択の視野を広げる

紙版 定価：1,430円(税込)

電子版 価格：1,200円(税込)

中学受験情報誌・進学レーダーは時期にあった特集テーマについて、先輩親子の体験談や私学の先生インタビュー、日能研からの学習アドバイスなど、リアルな声を毎号掲載！「私学の教育内容や学校生活」「学習」「生活」「学校選び」「入試直前の行動」など、志望校合格へ多面的かつタイムリーな情報をお届けします！



発売中 2025年3&4月号
後悔しない志望校選び
/注目の新校舎と新設備・新制服

発売中 2025年5月号
私学徹底分析 /私学のお昼事情

発売中 2025年6&7月号
まるごと！理科
/学校内で完結！私学の自習室

発売中 2025年8月号
伸びる夏 /クラブ活動一覧

発売中 2025年9月号
過去問徹底活用術！ /私学のプール

9/15 発売 2025年10月号
併願2026 /合格最低点

10/15 発売 2025年11月号
発見！ わが家の最適校 /採点基準
わが家の学校見学ポイントを見つけ、志望校選択の視野を広げよう

11/15 発売 2025年12月号
本番まで伸びる学習法 /寮のある私学

12/15 発売 2026年1&2月号
受験家族の直前マニュアル /各校の入試当日の対応

11/1 発売 入試直前特別号
紙版 定価：1,540円(税込)
電子版 価格：1,200円(税込)

※特集のタイトル・内容は、編集の都合上、変更になる場合があります。

進学レーダーのご購入方法

単品

- ①書店 近隣の書店でお買い求めいただけます
- ②みにく出版WebShop (5,500円以上(税込)のお買い上げで送料無料)
- ③Web書店 (Amazon、楽天ブックス ほか)
- ④電子版 (Fujisan.co.jp ほか)



定期購読

毎号発売日にご自宅へ配送いたします。

送料サービス！

- ①みにく出版WebShop
- ②Fujisan.co.jp



みにく出版

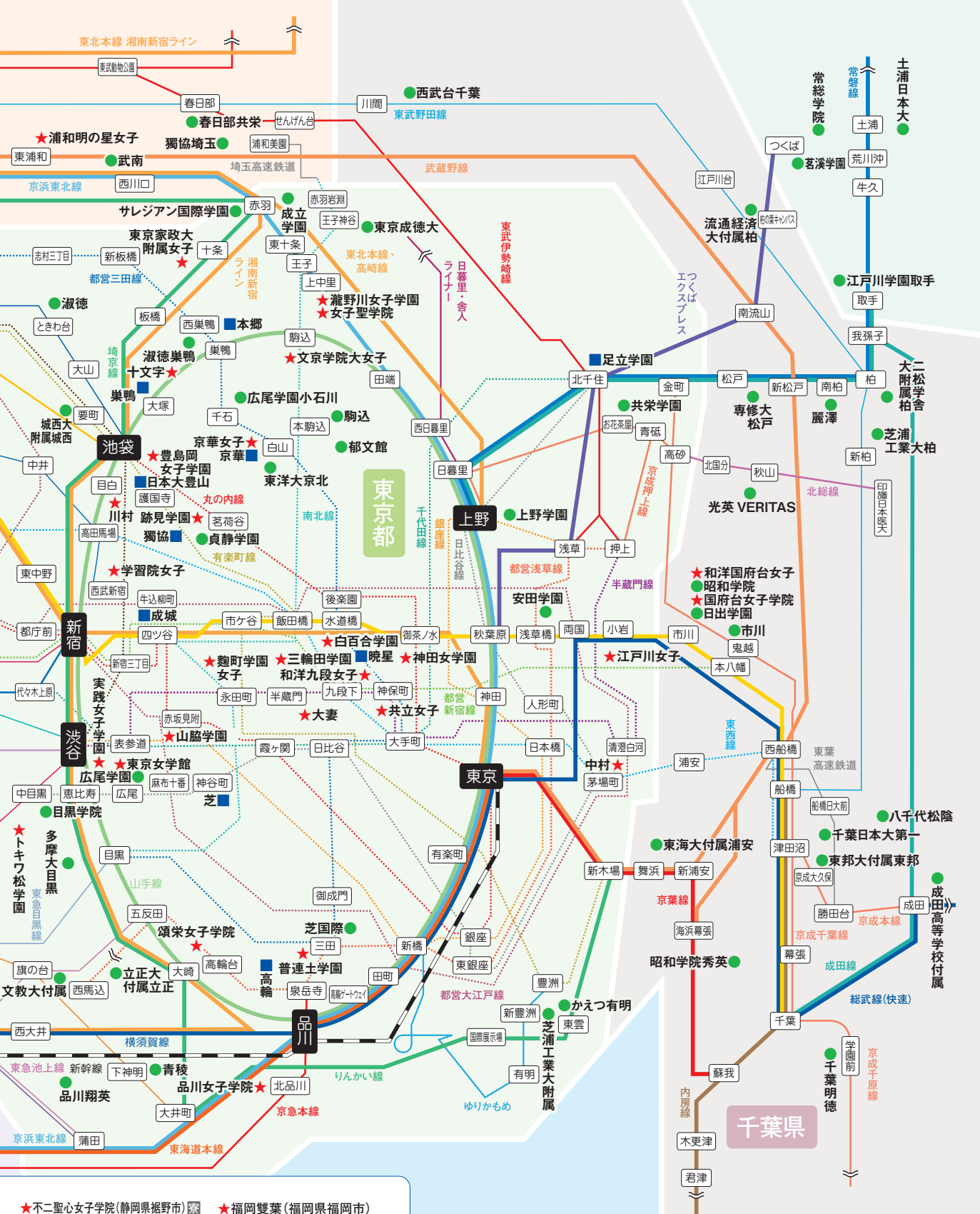
TEL. 03-3770-6930

みにく出版

検索

<http://www.mikuni-webshop.com/>





- ★不二聖心女子学院(静岡県裾野市)
- 加藤学園晚秀(静岡県沼津市)
- 日本大三島(静岡県三島市)
- 海陽(愛知県蒲郡市)
- 愛光(愛媛県松山市)
- 東洋大附属姫路(兵庫県姫路市)
- 岡山(岡山県岡山市)
- 早稲田佐賀(佐賀県唐津市)
- 東福岡自強館(福岡県福岡市)
- ★福岡雙葉(福岡県福岡市)
- 沖縄尚学(沖縄県那覇市)



凡 例：■男子校 ★女子校
●共学校 ▲男女別学校

学校名は一部省略して紹介しています。

- ※1 ●鎌倉国際文理 2026年4月より「鎌倉女子大」より校名変更、共学化
- ※2 ●明治大付属世田谷 2026年4月より「日本学園」より校名変更、共学化
- ※3 ●英明フロンティア 2026年4月より共学化予定
- ※4 ●明星 Institution 2026年4月 新開設

Netty Map

首都圏ネッティランド参加校 案内路線図





桐光ならではのきめ細かいサポートによる進学指導

別学校 桐光学園中学校

[学校HP] <https://www.toko.ed.jp>

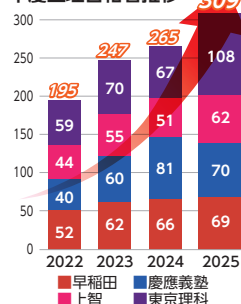
公式Facebook、公式Instagram、公式YouTube 公開中

〒215-8555 神奈川県川崎市麻生区栗木3-12-1 Tel.044-987-0519

最寄駅/小田急多摩線「栗平駅」徒歩12分。



早慶上理合格者推移



桐光学園中学校では難関国立大や医学部などに進学する生徒が毎年増加しており、特に2025年度の合格実績が伸びたことと、広報部長の井戸大先生にお話を伺いました。

本年は国立大96名、医学部医学科27名、GMARCH 467、海外大16名、とりわけ、早慶上理については躍進し、309名が合格しました(グラフ参照)。国立大は、東大3名、京都大2名、一橋3名などに加え、北大6名、東北大4名、阪大2名、九州大3名、医学部医学科は27名のうち、現役女子が国立大2名、私立大学4名が合格しています。

一方、東京藝術大学にも現役で男女2名が合格。このような合格実績には、209名の教員のうち169名が専任教諭：専任率80%超(これはあまり知られていませんが、たぐい稀な高い数値です)によるきめ細かい進学指導があります。同時に男女別学によつて

男女それぞれの特性にあわせた授業展開が可能であり、特に女子の医学部医学科合格についていえば、男女別学であるからこそ、ジェンダーバイアスが非常に少なく、女子も積極的に国立理系、そして医学部を志望する生徒が数多くいることが実績につながっています。さらに600を超える講座を有する講習制度があります。下級生では「基礎からの数学」や「英語ベーシック」など基本的な講座が多いのですが、学年が上がるにつれ細分化した講習が行われます。特に高校3年生では「理科東大対策」「早慶大世界史」「小論文講習 慶応(各学部ごと)」「国立大GMARCHレベル英語演習」「難関大古文漢文演習」など、教科ごとに大学別受験対策講座があります。本校の特徴として、総合型選抜に出願する生徒(もちろん個別の対策指導も充実)よりも国立大を中心に一般入試に挑戦する生徒が多く、後期試験まで諦めないこと、これが合格者増に繋がっています。また各クラス2人担任や授業・講習の担当者、2名の専属スクールカウンセラーなどによつて生徒一人一人のきめ細かなケア、生徒とのコミュニケーション

を大切に、最後までしっかりサポートすることも大きな要因になっていると思います。また多様な生徒がいることでお互いに刺激し合いながら切磋琢磨していることも学力を伸ばす一因になっていると思います。

さらに2028年には進学校棟としての機能を有した新校舎が完成予定で、一切の廊下を排し、ラーニングコモンズの周りをぐるりと教室が取り囲むような構造になるので、より学習環境が整うだけでなく、生徒同士、生徒と教員のコミュニケーションが一層活性化することで多様なニーズに今以上にきめ細かく対応できるものと考えます。

また東大で教鞭を執る卒業生による「東大見学ツアー」や世界的に専門医として活躍している卒業生による病院研修など、生徒のニーズに応える様々なプログラムを用意しています。

最後に、本校は単に進学指導だけの学校ではありません。充実した施設の中で行われる、文化部28種、運動部20種計48種のクラブ活動、各界の第一線で活躍する研究者・専門家による「大学訪問授業」、多様なグローバルプログラム、

● INFORMATION ●

- 中学校説明会
11月 9日(日)
12月21日(日)
- 英語資格入試／総合型入試説明会
10月25日(土)
- 入試問題説明会 動画配信
11月1日(土)～
帰国生入試問題説明会
12月6日(土)～
中学校入試問題説明会

※詳細は学校HP

ダブルディプロマを導入し、カナダ大使館でその覚書に調印したご縁で大阪万博カナダ館を見学したサマースクール、スキースクールなどを実施するウインタープログラム、例年1万人以上に來校していただく文化祭、学年の集大成となる合唱コンクールなど様々な学校行事などを通して次世代のリーダーとして人間的な成長の機会を大切にした上で、その延長上に生徒一人一人の夢を実現する進学指導があるのだと位置づけています。



大学訪問授業 谷川俊太郎氏に聞く中高一文藝部生徒



生徒主体で企画する創立100周年記念式典やイベントが盛りだくさん中学生も実行委員として活躍中！

共学校

駒込中学校

[学校HP] <https://www.komagome.ed.jp>

〒113-0022 東京都文京区千駄木5-6-25 Tel.03-3828-4141

最寄駅／メトロ南北線「本駒込駅」徒歩5分。メトロ千代田線「千駄木駅」・都営三田線「白山駅」徒歩7分。
JRなど「池袋駅」から都営バス「駒込千駄木町」。



Instagram



インタビューに答えてくれたみなさん。後列左からA.Yさん、K.Hさん、前列左からM.Rさん、O.Aさん

天台宗の開祖・最澄の「一隅を照らす」の教えを大切にしながら、グローバル教育やSTEAM教育にも力を注ぐ駒込学園は、今年、創立100周年を迎えます。11月には学校主催の記念式典、翌年1月には生徒主体の記念行事が予定されるほか、生徒主体の「駒込学園100周年記念委員会」が中心となり、記念冊子の編集、部室棟内に新設されるカフェの運用企画、記念式典の準備、広報活動や動画制作、新企画の立案など、多彩な取り組みが進められています。

委員会は生徒会メンバーが必須で参加し、そのほかは立候補した有志によって構成されています。中学生も高校生とともに奮闘中。自ら考え、行動しながら自分たちの役割を果たしています。今回、委員会の中学3年生4名に、その熱意や活躍の様子取材しました。

生徒会長 A.Yさん

生徒会長として、中学生全体のまとめ役を担い、意見の調整や進行を担当しています。人数が多いので大変なこともあります。高校生が率先して意見をまとめてくれるので、とてもスムーズに進められています。式典で挑戦するギネス記録の企画では、最初に10案ほど出た中から規模や予算を考えて4つに絞り込みました。班ごとにメリットやデメリットを検討し、次回の会議に向けて意見を持ち寄る形で進めていて、中学生も積極的に意見を出せる雰囲気です。



「駒込学園100周年記念委員会」は中高合わせて90人以上！

生徒会副会長 K.Hさん

高校生と一緒に活動できるのがとても楽しくて、生徒主体で式典をつくり上げていく過程にワクワクしています。生徒が作る冊子では、先生に「どんなお弁当を持ってくるんですか？」とインタビューしました。意外な先生が手作りのお弁当を持参していたり、好きな定番メニューをずっと続けていたり、驚きや発見がたくさんあって、企画を進めながらみんなで盛り上がりました。完成した冊子を読む人にも、思わずグッと笑ってもらえるような楽しいページになると思います。

100周年実行委員会副委員長 M.Rさん

私が所属する新企画部は約14人、そのうち4人が中学生です。ここでは100周年キャラクターの募集や私服登校日の案、企業と連携した企画などを考えています。たとえば私服登校案では、どんなルールにすればいいか、メリットやデメリットは何かを話し合っていて、みんなで真剣に意見を出合っています。小学校の頃は人前で話すのがあまり得意ではなかったのですが、今は副委員長を任されるようになり、自分でも成長を実感しています！



先生のお弁当企画ページ。先生方の個性にじむお弁当を紹介します。

生徒会会計 O.Aさん

記念式典の企画に参加していて、校内全員での合唱や部活動と一緒に発表した発表企画などを考えています。記念冊子は「学園が出す冊子」と「生徒が作る冊子」の2本立てで進めていて、生徒版ではクイズや先生のお弁当紹介などユニークな企画を担当しました。印刷作業もいよいよ終盤に入り、完成に向けて進行中です。自分の意見が採用されたり、みんなを出し合ったアイデアが少しずつ形になっていくのを実感できるのが嬉しく、大きなやりがいを感じています。



創立100周年を記念し、生徒から記念ロゴとキャッチフレーズを公募しました。

● INFORMATION ●

■ 学校説明会

11月15日(土) 14:00～15:30
12月21日(日)
10:00～11:30、14:00～15:30
1月18日(日) 10:00～11:30

■ 中学入試 夜の説明会

11月5日(水) 18:00～19:00

※すべて要予約です。

※詳細は学校HPをご覧ください。



部室棟の建て替えに伴い、1階にカフェを新設。コンセプトや運営ルールは生徒たちが話し合って決めます。ファミリーマートの自動販売機も設置予定です。お楽しみに！

大学付属校の魅力

学ぶ。知る。夢中。楽しい。

未来へ助走する6年間

近年、大学付属校の魅力として、6年間に散りばめられている大学とのさまざまな連携や高等教育へのアプローチが、クロージアップされています。



専門性の高い知見に触れる

付属校には、より専門的な研究者の知見、高度な設備を使った実習など、大学のリソースを生かせる環境があり、中高生を知の世界へ誘います。

例えば、●芝浦工業大学附属は芝浦工業大学の「世界に学び、世界に貢献するグローバル理工系人材の育成」という理念のもと、中

高大一貫教育によって理系人材を育成。●東京農業大学第一は、東京農業大学の研究室の協力を得て

行う実学習を実施。●東京電機大学では、大学の教授の専門知に触れる講義などが行われています。

また、東邦大学理学部・薬学部・健康科学部と連携した学問体験講

座を持つ●東邦大学付属東邦では、約7割の生徒が理系の大学志望です。

総合大学も例外ではありません。明治大学では、法学部が●明治大学付属明治など付属中高生を

対象に「法曹入門講座」模擬刑事裁判」を実施。他にも、農学部、

経営研究所、理工学部など多彩な連携があります。

高校生のうちに大学の単位が取得可能な、★実践女子学園、★日本女子大学附属の科目等履修生制

度、★昭和女子大学附属昭和の五修生制度、■日本大学豊山の連携教育といった制度もあります。

付属・系属校化で連携する

近年は高大連携から一歩踏み込

み、付属・系属・系列校となることで、より密接な関係を築く学校もあります。

学校法人宝仙学園は学校法人順天堂と系属校協定を結び、2025年4月から●順天堂大学系属理

数インターという通称を用い、「医学進学コース」を立ち上げました。

2026年4月には、●明治大学付属世田谷(現■日本学園)がスタートします。明治大学への推薦

枠は、約7割に相当する200人であると、この6月に発表されました。

多彩な進路を実現する

ここで、左ページに示した大学付属の内部進学率を見てみましょう。

ほとんどの生徒が内進する。純々付属校は少なく、50%ラインを挟む併設大学進学と他大学進学の両面がある付属校が多いことに気づきになるでしょう。

国立大学や併設大学にない学部といった条件付き、あるいは特に制限を設けず、推薦権を保持したまま他大学受験を認める学校も多く、進路への柔軟な態勢が付属校の支持される理由のひとつになっていることが伺えます。

内部進学には条件がある

付属校への入学が、併設大学へのパスポートではありません。併設大学(の希望学部)への内部進学は、学業成績や課外活動、人物評価など多岐にわたります。英語で学ぶ学部やグローバル化を進める大学も増え、一定水準以上の英語の資格試験の級やスコアなどが求められるます。

また、付属校生対象のテストとして、法政大学の「基礎的思考力確認テスト」、日本大学の「日大付属生基礎学力到達度テスト」が知られています。★立教女学院の立教大学推薦希望者は卒業論文提出が必須です。

中高と大学は地続き

今年4月、日本初の本格的なオンライン大学、ZEN大学が開学。2027年9月には東京大学に、新教育課程、UTokyo College of

Designが開校されます。新学部、文理融合、グローバル化、ジェンダー平等、女子大学の理系学部新設や共学化、入試の総合型選抜シフトなど、大学の変革も進んでいます。

18歳の進路選択に、難関大学という括りから、学部・学科や何を学びたいかに軸足を移す価値観の変化も見逃せません。

中高で幅広い教科から知識や学びのスキルを身につけ、大学ではより専門的な学びや研究に能動的に向き合っています。大学側は付属校からの入学者の活躍を期待し、付属校側も大学のリソースを活用し、探究活動やクラブ、様々な体験活動に打ち込めるよう、教育をブラッシュアップしています。

付属校の学びや学校生活を知ること、中高6年間と地続きの大学までをイメージするきっかけにもなるでしょう。

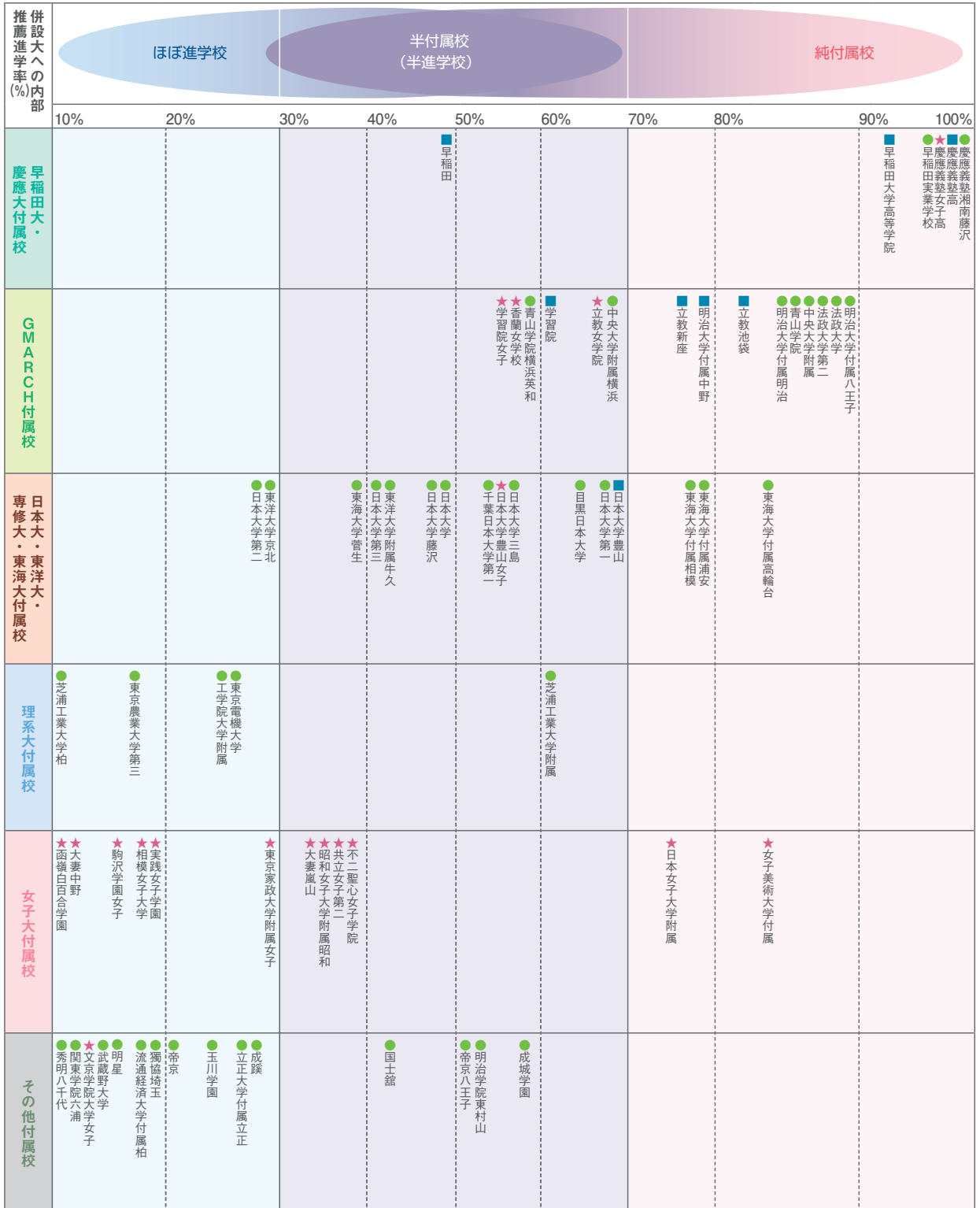


実践女子学園の世界課題を考える特別講座「スコレー」の今年のテーマは、「ジェンダー」。実践女子大学教授から、レクチャーやグループ発表の講評をいただき、ディスカッションも行った

付属校の 他大進学力

付属校ながらも、進学校的な指導力と進路の広がりを持つ私学に注目！
大学付属・系列の私立中高一貫校を選ぶときには、いわゆる「純付属校」と「半付属校(=半進学校)」の違いを予め知っておきましょう。校名に大学名がついていても、多くの大学付属・系列校が「(半)進学校」であることに注目してください。

2024年春 併設大学への内部推薦進学率マップ(抜粋、判明分のみ)



■ 男子校、★ 女子校、● 共学校



教科横断で創造性を学ぶ「クリエイティブラーニング」

★女子校 東京家政大学附属女子中学校

[学校HP] <https://www.tokyo-kasei.ed.jp/>

〒173-8602 東京都板橋区加賀1-18-1 Tel.03-3961-0748

最寄駅/JR埼京線「十条駅」徒歩5分。都営三田線「新板橋駅」徒歩12分。JR京浜東北線「東十条駅」徒歩13分。
東武東上線「下板橋駅」徒歩15分。JRなど「王子駅」からバス8分「区境」徒歩1分。



大学にあるピザ窯を使って、中2生がオリジナルのピザを焼き上げる「クリエイティブラーニング」の授業



東京家政大学附属女子中学校では、2024年度の中学2年生から「クリエイティブラーニング」をスタートさせています。同じ敷地内にある東京家政大学のピザ窯を使った「ピザ作り」の授業で、オリジナルピザを生徒自身が考案し、完成させるという実践的なプログラムです。バトンリレー形式で各教科の学びが「ピザ作り」という共通テーマで連携するのも特徴のひとつ。例えば、国語はキャッチフレーズの作成、理科は天然酵母作り、数学はピザ店を出

教科連携で学びを集約
大きな達成感も

店するコストや値段設定の計算という具合です。

「何かを創造する」というゴールに向けて、各教科の学びを集約。教室での学びが日々の生活や社会に結びついていることを実感するのが狙いです」と、クリエイティブラーニングを担当する根岸先生は語ります。

生徒たちも普段の学びが日常とつながっていることを感じつつ、自分たちでピザを完成させたことへの大きな達成感を感じて満足げな様子でした。根岸先生は、「今はまだ中2だけですが、今後は他学年にもクリエイティブラーニングを取り入れていきたいと考えています。中2で経験した子が中3でも、違う形でクリエイティブラーニングを体験できるように考えているところですよ」と語ります。

同じ敷地内にある 大学とつながる学び

このような学びは、広大な緑豊かな大学と同じキャンパス内にあるという恵まれた環境の恩恵も大きく受けています。中高生が大学の施設を使えるだけでなく、大学の教員が中高生に向けて授業をすることもあるといっています。



大学の授業を受けたり、大学の教員が中高の校舎で教鞭をとることも

なかでも「家政大学体験月間」では、中3〜高2が大学の各学部学科の講座を、体験受講。また、前述の窯焼きピザでも、ピザ窯を管理する造形表現学科の教授が、直接中2生に窯の使い方を指導してくれました。

中1ではグループごとにミッションを設定して、大学のキャンパスを探索して回る「家政大学探検」プログラムが。ほかにも東京家政大学博物館で学芸員の解説を聞きながら、学園の歴史などを知る機会もあります。

「大学生の姿を日常的に身近に感じて過ごすので、自然と自分の将来へのイメージがしやすくなります」(荒粉教頭)。

25歳に理想の自分で いるために今できることを

同校には、中学段階から将来を意識させる総合プログラム「ヴァンサンカン・プラン」があります。25歳の理想の私をイメージして、逆算的

に現在の学びを設計するというもので、「人生100年時代を見据え、社会に出た姿を描くことで、中学段階から今学べきことを意識するようにしています」(荒粉教頭)。冒頭のクリエイティブラーニングも、ヴァンサンカン・プランを構成する「未来創造プログラム」の一環です。さらに、先輩大学生と語り合う「ユニカフェ」や、大学生チューターによる学習支援なども用意されており、未来の自分を具体的に思い描きながら成長できる6年間を過ごせます。

緑苑祭

10月25日(土)・26日(日)
10:00~16:00

※入試相談室(個別相談)は要予約
中高・大で同日開催をする「緑苑祭(学園祭)」。大学の模擬店が並び、大学生によるファッションショーも行われるなど、スケールの大きさがポイント。学園全体の様子や施設なども見ることができ、絶好のチャンスです。

● INFORMATION ●

- 入試体験会
11月30日(日) 10:00~
12月21日(日) 10:00~
- 入試対策講座
11月8日(土) 14:00~
- ミニ学校説明会
11月15日(土) 10:00~

いずれのイベントも
※要予約
※詳細は学校HP





長期休みに幅広い講座から自分の興味を深める喜びを体感

★女子校 共立女子中学校

〔学校HP〕 <https://www.kyoritsu-wu.ac.jp/chukou/>

〒101-8433 東京都千代田区一ツ橋2-2-1 Tel.03-3237-2744

最寄駅／メトロ半蔵門線・都営新宿線 三田線「神保町駅」徒歩3分。
メトロ東西線「竹橋駅」徒歩5分。



今城有貴先生(理科)
自身が宇宙のおもしろさに
目覚めたことで、生徒たち
に向けて「うちゅうのおはなし」の講座シリーズを開講

**教える教員のワクワクが
自然と生徒にも伝わっていく**

私はこれまで数回に渡り「うちゅうのおはなし」というシリーズで、講座を開いてきました。銀河の写真を見たり、宇宙飛行士の採用試験と一緒に体験したり、プログラミングアプリ「Scratch」で

共立女子中学校では夏休み・冬休み・春休みには例年、長期休み講座を開講。1講座計2時間を3日で行います。英語や数学など基礎教科に加えて、講座を開講する教員の興味関心に合わせた一般教養的なものまで幅広く、生徒は自由を選んで受講することができます。

2025年度の夏休みは、なんと133講座も開講。学校の外に出て学ぶ体験講座も多数ありました。そこで今回は、講座を開講している先生と、実際に受講している生徒にお話をきいてみました。

人工衛星を動かすシミュレーションをしたり。学校の近くに宇宙ミュージアム「TanQ」があるので、生徒と一緒に出かけたこともあります。体験ものの講座は、生徒からも大人気で、定員20人に対して50人の応募がきたこともあります。

宇宙というと難しそう、女子は苦手そうというイメージがあるかもしれませんが、女子校ということもあり、共立では「好き」を堂々と口にする雰囲気があります。これは本校のよさでもありますね。



いさん(高2)
自分の興味関心を刺激してくれる長期休み講座を積極的に受講

「面白いがつつまった講座で学びの楽しさ」

中学生のころから長期休み講座は積極的に受けてきました。数をたくさん受けるというよりも、自分が興味を持っているものを受講しているという感じです。中学ではお金や株に関する講座、折り紙の講座、ユニークなものでは英語の先生が開いたJ・POPの講座

を受けたりしました。高校に入ってから、地理の先生が開く講座が面白くて取るようにしています。実際に地層を見に行ったり、学校の近くにある建築物や橋の歴史を学んだり。座学だけではなく、実際に現地に足を運ぶことも多くあります。本物を目の前にしながら、先生の解説を聞くことで、さらに興味や関心が深まると感じています。

印象的だったのは、明治の建築をテーマにした講座です。私は将来、建築系に進んで昭和初期のような建物づくりに関わりたいと思っているので、その点でも面白かったです。



宇宙の不思議を取り上げる講座は毎回大人気。生徒からテーマのリクエストも寄せられる。

私の専門は物理で、もともと理科全般が好きなのですが、コロナのときに宇宙にハマって、その面白さを生徒たちに伝えたくて講座にしています。宇宙といっても幅が広いので、そのときどきで自分がいちばん楽しいと思うことをテーマ



橋の歴史を学ぶ講座では実際に現地に足を運んだ。

長期休み講座は教科だけでなく教養系が豊富で、教科書の勉強とは違う学びの楽しさを体験できます。成績のためにやるのではなく、自分の興味があるからやるのが面白いし、他学年の友だちとの新しい出会いも新鮮です。

に取り上げています。教員である私自身が楽しんでいることで、生徒にも学びの楽しさが伝わっているのではないのでしょうか。

● INFORMATION ●

■ 学校説明会	※要予約
10月9日(木)	18:00~19:00
11月8日(土)	13:30~14:30
■ 共立祭(文化祭)	※要予約
10月25日(土)・26日(日)	9:00~16:00
■ オープンキャンパス	※要予約
12月14日(日)	8:45~13:00

※詳細は学校HP



居場所を見つけた中高時代。夢の実現に踏み出す

男子校

日本大学豊山中学校

[学校 HP] <https://www.buzan.hs.nihon-u.ac.jp/>

〒112-0012 東京都文京区大塚5-40-10 Tel.03-3943-2161

最寄駅／メトロ有楽町線「護国寺駅」徒歩1分。



先生の一言が成長するきっかけとなった中学時代

「豊山での中高6年間を振り返ると、男子校らしい熱のある雰囲気の中、仲間とのかけがえのない絆がつくれたと溝上竜司さんです。」

2025年春に日大豊山高校を卒業し、第一志望の日本大学芸術学部に見事入学。現在は映像を学びながら充実した大学生活を送っているのが溝上竜司さんです。

大学付属の利点を活かし
憧れの日芸に入学



溝上竜司さん
日本大学芸術学部映画学科1年
(2025年3月卒業生)



高2の豊山祭ではジェットコースターの出し物を

でも大切な時間でした。自分のいろいろな面を引き出すことができ、成長した中高時代だったと思います」

中学では引っ込み思案で、成績も低迷しがちだった溝上さんですが、中3から高1にかけて自分が大きく変わっていったと言います。

「中学時代は赤点を取ることもあったのですが、『このままだと内部進学できないぞ』という先生の一言で一念奮起。勉強に真剣に取り組んだら、一気に成績が上位に向上し、『やればできるんだ』と実感しました。高校からは、水泳部に入部。朝早く登校しプールの掃除や厳しい練習に励むことで、精神的にも体力的にも自分に自信がつけましたね」

そんな溝上さんは、高2で日大芸術学部を目指すことを決意。日大付属校生向けの「基礎学力到達度テスト」(3回

実施)を使い、付属校の利点を活かして受験をしました。

「勉強は大変でしたが、先生方からも『よく頑張っている』と認めてもらえたのが心強かったです。小さい頃からヒーローが大好きだったので、今度は自分が人に元気を与える立場になりたいという夢に向かって、大学生活を楽しんでいます」

▶伸び伸びと成長できた6年間

保護者
VOICE

6歳上の長男も豊山の卒業生で、男子校の伸び伸びとした環境や個性豊かな先生たちの面倒見のよさを実感。内気だった次男の竜司も男子校で自分の気の合う仲間を見つけて、自分らしく中高を過ごしてほしいと豊山を選びました。豊山では、生徒たちが誰に対してもしっかりと挨拶をしてくれるのも、校風のよさだと感じています。

子育てでは「人と比べない」ことを心に決めて、大切にしてきました。日芸を目指すとき聞いたときは驚きましたが、付属校

だからこそその受験ルートがあることは大きなメリットでした。志望校合格に向け、本人が目色を変えて努力していたのを見守ってきたので、「目標があること」のすばらしさを実感しています。

6年間で息子が自分自身を見つけて大きく成長できたのは、豊山という環境のおかげだと感謝しています。

溝上好美さん



●INFORMATION●

■入試説明会 ※要予約
11月1日(土) 10:00～12:00
12月13日(土) 10:00～12:00
※いずれもオンライン配信あり

■授業参観Day・ミニ説明会 ※要予約
11月22日(土) 8:30～12:30

■豊山祭(文化祭)
10月25日(土) 10:00～16:00
10月26日(日) 9:00～16:00

※詳細は学校HP



丁寧で質の高い指導が文武両道の結果につながる

共学校

千葉日本大学第一中学校

[学校HP] <https://www.chibanichi.ed.jp>

〒274-0063 千葉県船橋市習志野台8丁目34番1号 Tel.047-466-5155

最寄駅 / 東葉高速鉄道「船橋大前駅」徒歩12分。京成線「習志野駅」徒歩18分。

京成線「北習志野駅」・J R総武線(快速)「津田沼駅」からバス「千葉日大一高」ほか。

成績上昇中で勢いのあるサッカー部

千葉日大の中学サッカー部は現在約70名が所属。4年前から小学生向けの体験会を実施。大会で好成績を残していることもあり、入部希望者が急増しています。活動は、練習や公式戦など週5日となっています。

そんなサッカー部の指導方針は「技術よりも人間性を重視すること」と顧問の山中敏一先生は語ります。

「挨拶や規律は基本です。勉強ができてこそサッカーができる。赤点や宿題未提出の生徒は、どんなに大事な試合でも出場できません」と、勉強と部活の両立を徹底しています。

充実した指導体制も同校サッカー部の特徴です。3名の顧問に加えて外部コーチが7名。元プロ経験者やOBコーチも含め、1日平均4人ほどの大人が生徒を指導します。



山中敏一先生

千葉日大サッカー部の顧問。千葉県のトレーニングセンター(選抜育成制度)監督も務める。サッカー指導者のA級ライセンスを取得中。



部員数も増え、試合でも結果を出すなど、勢いに乗るサッカー部

「選手を見る目を増やすことが成果にもつながっています。指導者ライセンスを持った教員もあり、指導の質も強化しています」

成績も伸びており、3年前の春季大会での初優勝以降、毎年結果を出し、今年は4つの大会で優勝しました。

部活の雰囲気は、「根が真面目でやさしい子が多く、協調性がある生徒ばかり」(山中先生)のため、和気あいあいとした和やかさがあります。先輩後輩の関係も良好で、高校生との交流もあります。そんな温かな雰囲気の中、全員が一丸となって技術を磨き、チームワークを強化。さらなる上を目指して積極的に活動しています。

INTERVIEW

仲間との信頼関係が結果につながるプレイに



山本欧佑くん(中3)
中学サッカー部・キャプテン

3歳の頃からサッカーを始め、千葉日大の小学校時代はクラブチームに所属。中学では勉強との両立も考えて学校のサッカー部に入部しました。

千葉日大のサッカー部は人工芝のグラウンドが使えるなど環境面が充実しています。大学生のOBコーチが身近にいて、親身に相談に乗ってくれることも魅力です。

部活ではサッカーの技術だけでなく、生活面や勉強についてもしっかり指導されまうと試合に出られない」ので、緊張感をもって学校生活を過ごしています。

印象に残っているのは、中2の新人戦で優勝できたこと。先輩たちが果たせなかった結果を、自分たちの代でつめたのは大きな自信になりました。

● INFORMATION ●

■ 学校説明会 ※要予約
10月18日(土)
14:00~15:00
11月 8日(土)
14:00~15:00

■ 文化祭
11月1日(土)・2日(日)
※詳細未定

※詳細は学校HP



サッカーと勉強を両立し、高校でも活躍を目指す。

た。仲間との信頼関係でつながったプレイのおかげです。僕のポジションは左サイドハーフで、シュートを決めた瞬間はやっぱり格別です。それ以上に楽しいのは、仲間とボールをつないでプレイできることです。キャプテンとして大きな声を出しながら、率先して行動することを意識しています。

高校でもサッカーは続ける予定で、トップチーム入りを目指したいです。将来はスポーツトレーナーなどチームを支える立場で、一生サッカーに関わっていきたいですね。



中1が文化祭で学校の魅力を発信！ 手作りのお守りも配布

共学校

日本大学藤沢中学校

【学校HP】 <https://www.fujisawa.hs.nihon-u.ac.jp>

〒252-0885 神奈川県藤沢市亀井野1866 Tel.0466-81-0125

最寄駅／小田急江ノ島線「六会日大前駅」徒歩8分。



LINE公式



学校HP



Instagram公式



来場者に説明をする生徒たち

前年度のお守り配布を拡大し、応援ステーションを設置

日本大学藤沢高等学校・中学校は、6月14・15日の2日間、日藤祭（文化祭）を開催。その中で、入学して間もない中1の生徒たちが「未来の日藤生応援ステーション」を企画し、ブースを設けて運営を行いました。昨年度も中1（現・中2）の生徒たちが合格祈願お守りを手作りし、受験生に配布しましたが、今年度はさらに企画をバージョンアップ。学年マスケットキャラクターの顔はめパネルや、学校生活の様子、中学受験の思い出アンケート集計などの掲示物を展示したり、来場者に「日藤クイズ」に答えてもらい、正解したらオリジナルグッズの桜柄クリアファイルをプレゼントしたりと、充実した内容になりました。そして、昨年同様、学年全員で合格祈願お守りを手作りし、受験生の小学生に配布。裏面には思い思いのメッセージも書かれており、「昨年、自分が先輩にしてもらって嬉しかったことを受験生にもしてあげたい」という生徒たちの思いがこもったものとなりました。



中1ブースの掲示物も生徒たちが作成

企画・運営にあたっては、各クラスから2名ずつの文化祭実行委員が中心となり、クラスごとの案を委員会で相談して、方向性を決めました。準備は全クラス合同で担当者別に分かれて作業しましたが、他のクラスの生徒と知り合い、一緒に活動する機会となり、生徒たちは楽しそうに取り組んでいたのだとか。前日の準備日には先生方がお客様の役を務め、学校紹介や受験期間



受験生に配布された手作りの合格祈願お守り

中1のアドバイスなどをする練習をしました。その成果もあり、当日の生徒たちは積極的にわかりやすく説明し、受験生親子にも好評だったようです。つい4か月前までは受験生だったのが、より具体的に現実的な話ができ、来場者の方々も熱心に話を聞いてくれたといいいます。「受験生を応援する立場になったことで、日藤生になったことを改めて実感しているように見えました。今回のような行事や普段の学校生活を通して、自分たちで考えて行動するという『生きる力』をどんどん身につけてほしいと実感しました」と中1担任の先生。広報部主任の池田直哉先生も「今後は10月の体育祭、2月の合唱コンクールなどもあるので、さらに団結力、結束力を高めて成長してくれたら」と話してくれました。

● INFORMATION ●

■入試説明会 ※要予約
11月1日(土)、11月15日(土)、11月29日(土)
各日14:30～15:30

■入試日程
第1回 2月1日(日) 9:00～ 4科
第2回 2月2日(月) 15:00～ 国算2科
第3回 2月4日(水) 9:00～ 4科
※4科入試は国算各100点、理社各60点 計320点満点
※2科入試は国算各100点。高得点科目×2倍 計300点満点

※詳細は学校HPでご確認ください。

日藤祭に参加した中1生徒たちの声

- Aさん：楽しかったです。この企画で日藤を目指してくれる子が少しでも増えてくれたら嬉しいです。
- Bさん：当日案内係でしたが、掲示物だけでなく、説明する人がいたことで、より深く日藤のことを知ってもらえたかなと思います。説明会だけでは知ることができないことも伝えることができました。私たちにとっても有意義な時間になったと思います。
- Cさん：当日、受験生や保護者の質問に応じました。実際にやってみると、自分の答えに理解を示してくれて、うまく伝わって良かったと思います。とてもやりがいを感じました。



“すべての生徒に陽が当たる” 充実した学校生活

共学校 日本大学第三中学校

[学校HP] <https://www.nichidai3.ed.jp>

〒194-0203 東京都町田市国師町11-2375 Tel.042-789-5535

最寄駅／J R横浜線・小田急小田原線「町田駅」からバス「日大三高入口」「日大三高東」ほか。登下校時、京王線など「多摩センター駅」「町田駅」、J R「淵野辺駅」から直行・急行バスあり。



7・8月号で紹介したネイティブの先生が担当する夏休みの校内英語研修

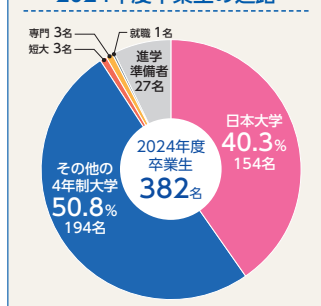
**範囲の先取りではなく
より深く学ぶことを重視**

日本大学第三中学校は、日本大学（以下、日大）の特別付属校（学校法人が異なる付属校）という位置づけで、多くの学部・学科を有する日大に内部推薦で進学できる資格を得られることはもちろん、他大学進学を希望する生徒にも寄り添った手厚く、きめ細かい進路指導を行っています。同校の教育について教頭の鈴木教郎先生にお話を伺いました。「本校は勉強、行事、部活動を教育三本柱とし、普段の学校生活をしっかり過ごすことを重視しています」と鈴木先生。中学で高校の範囲を学ぶなどの「先取り学習」をせず、基礎基本を重視しています。これは中3の選抜クラスであっても同様です。「選抜クラスはカリキュラムを他の



職員室は生徒が先生に質問しやすい環境

2024年度卒業生の進路



クラスより早く進めるのではなく、より深掘りして学びます。また、本校は各教科の教員に質問したり、自習室、図書室、学習室など学校の環境を生かして学ぶ生徒が多いのも特徴です。職員室は生徒が出入りしやすく開放的な空間となっていることから、昼休みや放課後に質問に来る生徒も多く、質問したい教科であれば、普段授業などで関わりのない教員が対応することもあります。私たち英語教員は生徒の要望で英検の2次面接の練習を行うこともあります」と鈴木先生。同校には自習室以外にもさまざまなところに学習スペースが設けられており、自習する生徒の姿があります。原則として中1から高3まで学年担任が持ち上がるシステムなので、学年担任の先生方は生徒一人ひとりについて詳細に把握し、学校生活

や進路指導などできめ細かいケアをすることができまます。「内進生から東京大学、京都大学、東京科学大学など難関校にも合格者が出ており、部活動や生徒会と勉強を両立させていた卒業生も珍しくありません。先輩たちの姿を見て憧れて、『次は自分も』と頑張る生徒も多いようです」と鈴木先生は話します。

**多彩な種類の部活動があり、
それぞれの輝く場所が見つかる**

同校は今年度の高校野球全国大会で準優勝した高校硬式野球部に代表されるように、部活動が盛んなことも特徴です。運動部の中にはテニス部など中学から入学した生徒も活躍する部も少なくありません。吹奏楽部、演劇部など文化部の活動も盛んで、いろいろなタイプの生徒が自分の居場所を見つけて輝いています。「文化部も例えば物理部が今年、アマチュア無線の『ALL J Aコンテスト』全国大会に出場。電話部門マルチオペオールバンドで10連覇を達成するなど、素晴らしい実績を残しています」と鈴木先生は話します。前述のように部活動と勉強を両立させている生徒も多く、放課後や長期休

● INFORMATION ●

■学校説明会 **※要予約**
10月25日(土) 11月22日(土)
1月10日(土)
すべて13:45～15:00

■校内見学(予約不要)
月曜～金曜 15:30～18:00、
土曜 13:00～18:00、
日曜 8:00～18:00に可能。
車での来校も可。

※変更の可能性がありますので、学校HPをご確認ください。



部活動の種類が多く、加入率が高いことも日大三の特徴

などに行われる講習も充実。学習に置きが合った場合の指名補習も行われており、生徒の状況やニーズに合わせた取り組みを各学年で実施しています。部活動の顧問や講習など課外の指導を外部の機関や指導者に頼らず、すべて同校の教員が担当していることも特徴で、授業以外の学校生活でも先生方が生徒たちにしつかり向き合ってくれるので、保護者も安心できる環境です。



大盛況のオープンスクール！授業体験から部活動見学まで、活気あふれる特別な一日

共学校

東洋大学京北中学校

[学校HP] <https://www.toyo.ac.jp/toyodaikeihoku/>

〒112-8607 東京都文京区白山2-36-5 Tel.03-3816-6211

最寄駅／都営三田線「白山駅」徒歩6分。メトロ南北線「本駒込駅」徒歩10分。
メトロ丸ノ内線「茗荷谷駅」徒歩17分。メトロ千代田線「千駄木駅」徒歩19分。

● INFORMATION ●

- 学校説明会 ※要予約
11月8日(土) 14:30～ 12月13日(土) 14:30～
- 入試問題対策会 ※要予約 12月20日(土) 動画配信
- 外部イベント
大学通信 私立中高進学相談会(大学通信)
11月2日(日) inアキバ・スクエア
OKK私立中学高等学校相談会(大井町から教育を考える会)
11月3日(月祝) inアワーズイン飯倉

8月23日に開催された第2回オープンスクールでは、国語・数学・英語・理科・社会・哲学といった多彩な授業体験が行われ、子どもたちは真剣なまなざしで先生の問いに答えたり、積極的に発言したりと意欲的に参加していました。どの教室も満員！年々偏差値が上昇し、今では1,000名を超える受験生が集まるといふ同校の人気ぶりがうかがえます。並行して行われた学校説明会や個別相談では、保護者が熱心に耳を傾け、先生に質問する姿も。

後半の「いろいろな見学タイム」では、先輩たちが汗を流して部活動に励む姿を見たり、直接説明を受けたりする機会もあり、参加者は入学後の楽しい学校生活を具体的に思い描けたことでしょう。保護者も子どもも笑顔で見学していた姿がほほえましく、同校の魅力がしっかりと伝わった一日となりました。

数学



と先生に声をかけられ、頭をひねります。自分の考えを整理することが大事だと感じていた様子。発展問題Bに挑戦する子どももいて、算数が好きな子どもたちが多かったのでしょう。みんなわくわくしながら楽しそうに取り組んでいました。中学で本格的に数学を学ぶのが待ち遠しいですね。

テーマは「図形の内角と外角」。先生が「四角形の内角をすべて足すと何度になる？外角は？」「外角の和が360度であることを使って問題を解いてみよう！」と投げかけると、子どもたちはいきいきとプリントに向かいました。直感で答えが出た子ども「なぜそうなるのか考えてみよう」

哲学

同校の建学の精神は「諸学の基礎は哲学にあり」。哲学はまさに同校の教育の核です。授業の冒頭では先生から「2050年の日本はどうなっているのでしょうか？わかりませんよね。だからこそ考えることが大切です」とお話がありました。さらに、松井秀喜選手が高校時代に敬遠で敗れた試合の映像を見て、松井選手や投手、それぞれのチームメイトの心境をグループに分かれて考えるワークも。子どもたちにとっては初めて向き合う「哲学」。一生懸命考え、プリントに意見を書き出していました。感想を述べる場面では、保護者から「正解はないんじゃないか」と意見があがるなど、教室全体が哲学の問いに熱く向き合う時間になりました。



学校説明会



星野純一郎校長先生が建学の精神や教育の目的、そして学校生活で大切にしたい心がけについて語り、広報担当の先生が学習面について説明します。その一例が、中学の「朝テスト」。英語・数学・国語のテストを毎朝実施し、合格点に届かない場合は放課後の補習「ASP(After School Program)」で必ずフォローするそう。「できなかったら放置しない。フォローの手厚さは他校に負けません」と先生は力を込めます。

さらに、国公立大や難関私大への合格実績や東洋大学への内部進学制度についても触れました。進路の幅広さに安心した保護者も多かったようで、熱心にメモを取っていました。



英語

ネイティブ教員がオールイングリッシュで「Food Edition Bingo」を進行しました。子どもたちに配布されたプリントには「Do you like pizza?」「Do you like ramen?」などの質問がずらり。意味を考えながら答えを埋めていきます。わからないときには日本人の先生がすぐにフォローしてくださるので安心です。その後、先生と一緒に好きな食べ物を尋ねるやりとりを練習し、代表のペアが発表。初めて顔を合わせる子同士、最初は少し恥ずかしそうでしたが、先生がやさしく声をかけると会話が弾みま



した。教室からは大きな拍手が。入学後にまた出会えるかもしれないと思うと、楽しみが膨らむ授業でした。

部活動見学



かるた同好会では、先輩が百人一首の上の句を読み上げると参り、隣のお母さんと顔を見合わせてうれしそうにっこり。合唱部は響き渡る発声練習を披露し、文芸部は机に並べた冊子や詩集を手渡して見せてくれます。グラウンドでは熱中症に気をつけながら、サッカー部や野球部が汗を光らせながら練習に励みま

加した子が身を乗り出して札をゲットしました！その瞬間にぱっと笑顔が広がり、隣のお母さんと顔を見合わせてうれしそうにっこり。合唱部は響き渡る発声練習を披露し、文芸部は机に並べた冊子や詩集を手渡して見せてくれます。グラウンドでは熱中症に気をつけながら、サッカー部や野球部が汗を光らせながら練習に励みま



した。サッカー部は小さなミニゲームを展開。鋭いパス回しやシュートが次々と繰り出され、見ている側も思わず引き込まれる迫力がありました。





社会課題解決につなげるさまざまな体験プログラム

共学校

芝浦工業大学附属中学校

[学校HP] <https://www.fzk.shibaura-it.ac.jp>

〒135-8139 東京都江東区豊洲6-2-7 Tel.03-3520-8501

最寄駅/ゆりかもめ「新豊洲駅」徒歩1分。メトロ有楽町線「豊洲駅」徒歩7分。JRなど「東京駅」、JR総武線・メトロ半蔵門線「錦糸町駅」、都営大江戸線「門前仲町駅」からバス「豊洲駅前」ほか。



第1回全国情報教育コンテストにおいて「ソーシャルグッド優秀賞」を受賞。(株)CHINTAIの奥田社長、電技研顧問岩田先生と部員たちによる記念撮影

この度の参加で、電子技術研究部がこれまでに培ってきた専門性と技術力を全国レベルの舞台で発揮でき、万博という国際的な場において、日頃の研究成果を発表する機会を得たことは、部員にとって貴重な学びと経験となりました。

電子技術研究部のスペースブローブコンテストチームは、2024年度に行われた

電子技術研究部、大阪・関西万博デジタル学園祭へ出席

本学園祭は、全国情報教育コンテストにおいて優れた成績を取ったチームが招待されるもので、本校は第1回および第2回コンテストに出場した全国214チームの中から選抜された代表14チームの各校として参加しました。



高2の女子生徒5名が参加した「こうとう未来ミーティング」。江東区長の大久保果実氏とも積極的な意見交換を行った

江東区主催の「こうとう未来ミーティング」

7月23日(水)、江東区主催の「こうとう未来ミーティング」に、スクールサポーターとして、本校の高2女子生徒5名が参加しました。

当日は、同年代の他校女子生徒と共に「女性が活躍できる社会に向けて」というテー

第1回全国情報教育コンテストのファイナリスト10校に選出されました。CHINTAI様による「ソーシャルグッド優秀賞」を見事受賞し、副賞として学生応援TVへの出演が叶いました。その結果、本チームは大阪万博のメッセ会場にて7月19日、20日の2日間、展示発表する運びとなりました。



高雄市のメトロ企業訪問の様子。「台湾MaaS x Eプログラム」では、最先端モビリティの他、台湾の歴史や文化にも触れる

台湾MaaS x Eプログラム

昨年からはじめたモビリティ先進都市・高雄で学ぶ工学系プログラム「台湾MaaS (Mobility as a Service) x E (Engineering) プログラム」。

今後の彼女たちの成長にもどうぞご期待ください。

マでグループディスカッションを実施。その後、グループごとに発表を行いました。

さらに、江東区の大久保区長との直接の意見交換も行われ、テーマに対する理解と関心をより一層深める貴重な機会となりました。

真剣に意見を交わしながらも、笑顔で取り組む本校生徒の姿がとても印象的で、将来の活躍がますます楽しみになるミーティングとなりました。

● INFORMATION ●

■ SHIBAURA DAY
(オープンキャンパス) (秋)

※要予約

11月2日(日)
午前・午後

■ 中学オンライン説明会

※要予約

第5回: 11月15日(土)
9:30~11:50

※予約・詳細は学校HP

高雄ではEVバス・LRTの導入だけでなく、MaaSの取組みを積極的にを行い、課題解決を図っています。そんな台湾の最先端モビリティや日本統治時代の歴史や台湾文化について学びます。

今回のメインプログラムの一つである、高雄市のメトロ企業「高雄MRT本社」へ訪問しました。高雄MRTは地下鉄だけでなく、路面電車の運営も行っており、日本との交流にも積極的に取り組んでいます。昨年は「江ノ電」や「おやつカンパニー」とコラボしたラッピング列車が、両地域で走行していたとのこと。

午後は、「高雄ぶらりパス」を使って、高雄市内の地下鉄・路面電車・フェリーを実際に利用しながら、公共交通機関の利便性を体感しました。現地の大学生と一緒に市内を巡り、高雄の魅力に触れる楽しいひとときを過ごしました。



立正の語学研修プログラム～挑戦は旅から始まる。アメリカで見つけた将来への一步！～

共学校

立正大学付属立正中学校

[学校HP] <https://www.rissho-hs.ac.jp/>

〒143-8557 東京都大田区西馬込1-5-1 Tel.03-6303-7683

最寄駅／都営浅草線「西馬込駅」徒歩5分。JR・東急池上線・都営浅草線「五反田駅」、JR「川崎駅」からバス「立正大学付属立正中高前」徒歩2分ほか。
スクールバス：JRなど「大崎駅」から20分。



立正大学付属立正では、3～5年生の希望者を対象に、夏期休暇中に短期留学を行う海外語学研修を実施しています。2025年度はアメリカで実施され、帰国したばかりの生徒4名に話を聞きました！

アメリカでのスクールライフ

午前中はレベル別に分かれ、現地のスクールで授業を受けます。神原さんは「動画の要約や環境問題のディスカッションなど、多彩な内容を体験しました」と話します。さらに午後はアクティビティと呼ばれる文化体験を行います。「ドジャー・スタジアムでの野球観戦は思い出に残っています。目の前で大谷選手のホームランを見ることができたのは大きな思い出です」(内山さん)

留学は将来への一步

参加理由は様々です。宮永さんは二年連続での参加。「昨年度のイギリス研修を経て英語の楽しさを知り、英語の必要性を両親にプレゼンし、再度参加しました。語学研修を経てリスニング力が上がったと実感しています」と話します。石井さんも将来を意識し

て参加したそうです。「将来は海外企業で働きたいです。そのために一度は海外を経験したいと思い参加しました」と話します。英語が嫌いだったと話す内山さんは「英語は嫌いでしたが必要性を感じ、またMLB観戦もきっかけで参加しました。研修後は洋楽を聴くようになり、勉強のモチベーションも上がりました」と変化を語ってくれました。

学びを将来へいかす

語学研修を通して学びや姿勢に変化が表れているそう。石井さんは「ホストファミリーから発音が大事とアドバイスをもらったことで、これまでは単語帳をみながら覚えていましたが、今は発音も意識しています」と話します。宮永さんは「英語力を試せる大学へ進学したいと思っています」



研修中はJ・ボール・ゲティ美術館も見学



今回お話を伺った、神原さん、宮永さん、内山さん、石井さん ※左から順

立正の海外語学研修プログラム

3年生～5年生の希望者を対象に、夏期休暇期間中に短期留学をするプログラムです。イギリスとアメリカを隔年で交互に実施しており、2024年度はイギリスを、2025年度はアメリカを訪問しました。期間中は、ホームステイをしながら、現地の学校に通い語学を学びます。現地の歴史や風土を胸いっぱい吸い込みながら、英語力をアップできるプログラムです。



ます。まずは英検準一級を目指したい」と話します。神原さんも「高校1年生段階では、改めて発音や文法が不十分だったと痛感しました。高1ではもう一度中学段階の英語文法を総復習しています」と

話します。語学研修を通して英語力だけでなく、モチベーションもアップした4人。今回の研修は、これからの将来に向けた大きな財産になるでしょう。

● INFORMATION ●

■学校説明会 ※要予約
10月11日(土) 14:00～
11月1日(土) 14:00～

■学校説明会＋入試問題解説会 ※要予約
12月13日(土) 9:30～

予約や以降の説明会情報は学校HPをご覧ください。



英語が通じた! 殻を破れた! 夏の国際交流プログラム



別学校 国学院大学久我山中学校

[学校HP] <https://www.kugayama-h.ed.jp/>

〒168-0082 東京都杉並区久我山1-9-1 Tel.03-3334-1151

最寄駅 京王井の頭線「久我山駅」徒歩12分。京王線「千歳烏山駅」から関東バス「国学院前」。
J R中央線 総武線「三鷹駅」から京王バス「御嶽神社」徒歩9分。



▲「ニュース番組を作ろう」の場面。レポーター役を務めたN・Sさんは「台本作りから携わり、うまくできて自信がついた」と話してくれました。



▲「エアポートゾーン」の場面。レストランや機内でのやりとりを、本物さながらのセットの中で学びました。「ジェスチャーを交えて伝えようとする友人に感化されました」(N・Hさん)

中2生が挑んだ「Tokyo Global Gateway (以下、TGG) 研修」は、外国人の先生方のもとで、英語を学ぶ英語で挑む。2種のTGGプログラム(各セッションは60分/1日4時間)を体験するもので、希望参加のSTクラスを含む、3クラスが混ざり合う最大8名のグループで英語に浸かる3日間を過ごしました。

中2はTGG研修にチャレンジ
女子部の生徒たちが、今年も夏休み恒例の「国際交流プログラム」に挑みました。中1〜高2まで5年間にわたり、段階的に生きた英語や文化に触れる、CCクラスの学びに位置付けられたプログラムで、今年で10年目になります。

毎日、グループ担当の先生が代わり、アイスブレイキング(自己紹介やゲーム)を行ってからセッションに入りま

自分が変わる瞬間に出会えた!

ネイティブの先生との会話を楽しみに参加したR・Kさん。英語に苦手意識があり、伝わらないんじゃないかという不安を抱えていたN・Hさん。英語は好きだけど人前での発言に自信がなかったN・

す。セッションでも複数の先生と関わります。「何をやるのかな、伝わるかなという不安もあって、初日はみんな緊張していました。2日目の午後には疲れも見られましたが、3日目になるとグループ担当の先生とたあいもないおしゃべりをする姿も見られて、気持ちがあがれる素敵な体験になったと感じました」(積 麻衣子先生/CCクラス担任・音楽教諭)

「たぶん会話の中にはわからない言葉もあったと思いますが、TGGの先生が皆さんフレンドリーなので、わかつくとする気持ちや、自分の思いを英語で伝えてみようという気持ちが生まれて、次第に(自分の) 殻を破っていく……、そんな様子が見てとれました。気持ち次第で会話は変わると思いました」(佐藤真音先生/CCクラス担任・理科教諭)

生徒からのメッセージ



「回答に困った時に「I'm sorry」と言うと、先生が「It's okay」と返してくれました。それでいいなと思いました。ネイティブの先生から学ぶ楽しさはそういうところにあります。TGG研修を通して、ますます英語が好きになりました。私は久我山に入りたくて小6の途中から勉強を始めました。受験生には「最後まであきらめないで」と伝えたいです」R・Kさん(ST/ESS部)

「私は周りに合わせるタイプ。自分の意見をうまく言えず、モヤモヤしていたのですが、TGG研修で「間違えても大丈夫」という言葉を聞いて気持ちが晴れました。これからは自己表現をたくさんしていこうと思っています。久我山は個性を認め合い、Win-Winの関係を作る学校で、私には合っていたと思います。中学校は第二の人生が始まる場所。自分の目で見て選んでください」N・Hさん(CC/弓道部)



「人前に出るのが苦手で、授業中に発言することもできなかったのですが、TGG研修を経て意識が変わりました。1年時から積み重ねてきた英語の力が大きかったことに気づき、自信になりました。不安な気持ちがあると、焦ったり余計に空回りしたりすることがあるけれど、頑張ってきたことは裏切りません。受験生の皆さん、自分を信じてやり抜いてください」N・Sさん(CC/ESS部)

● INFORMATION ●

■ 学校説明会 ※要予約

11月1日(土)
14:45~15:45
11月15日(土)
14:45~15:45
1月17日(土)
12:30~13:30

■ 中学校入試説明会 ※要予約

(入試直前講座)
12月14日(日)
9:00~13:00

※詳細は学校HPをご覧ください

東京エリア特集

JR埼京線・武蔵野線・中央線・中央本線・
湘南新宿ライン・高崎線・川越線・
東北本線(宇都宮線)・八高線・青梅線・横浜線・
五日市線・南武線・総武線・京王線・井の頭線・
相模原線・高尾線・西武新宿線・池袋線・多摩川線・
国分寺線・拝島線・小田急線・多摩線・相模原線・
小田原線・多摩モノレール・東武東上線・越生線・
秩父鉄道・東京メトロ東西線



埼玉北部・西部/西

東京都

昭島市、小金井市、小平市、国立市、多摩市、調布市、町田市、西東京市、八王子市、東久留米市、東村山市、三鷹市、武蔵野市

埼玉県

入間市、川越市、狭山市、志木市、所沢市、新座市、東松山市、本庄市、入間郡、比企郡

など、埼玉北部・西部と東京市部の西東京エリアの中高一貫校をご紹介します。

広大な校地と緑豊かな環境。 のびのびと成長できること間違いなし！

埼玉北部・西部は近年、高校のみだった学校に中学が開設されたり、学校自体が設立されたりするなど、比較的新しい私学が多い地域です。一方、西東京エリアは、伝統を保ちつつさらなる発展を目指す歴史ある私学と、時代の変化に基づく理念のもと教育を展開する新しい私学が入り混じる地域といえるかもしれません。

また八王子・多摩方面へ目を向けてみると、かつて大学のキャンパスが郊外型になっていた名残か、大学付属校が多く見られる印象です。

2021年に創立100周年を迎えた●自由学園は次の100年を目指す学校改革を進めるために、2024年に共学化。生徒主体の新たな学校づくりや、カリキュラム改革などを進めています。また、●明法も高等学校に続いて2025年4月より中学校も共学化しました。2026年4月には●明星が新たに●明星Institutionを開設します。

新規設立校としては、●開智所沢が2024年4月に開校しました。多様性や豊かな社会の実現に貢献できる人材の育成を理念に掲げ、未来を見据えた教育を展開しています。

この地域は都心部などから見ると下り方面になるため、上り方面の列車に比べて朝夕のラッシュが緩和され、通学が比較的楽なことが特徴です。通学時間は長くなる傾向にありますが、実際に通う生徒たちは、電車内での時間を読書や学習などに充てて有効活用しているようです。

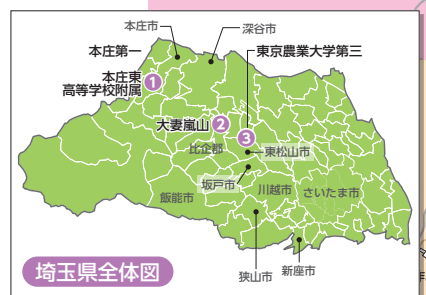
さらに居住地域の路線と異なっていたり、電車では一見不便そうな場所にあったりしても、近隣のターミナル駅などからのバス便が豊富なこともこのエリアならではの。スクールバスを運行している学校も多く、生徒たちは快適に通学しています。もちろん駅から徒歩で通える学校も。

このエリアには伝統ある学校、新進の学校、独自性のある教育を行う学校など、さまざまなタイプの私学がそろっています。

凡例：■男子校 ★女子校
●共学校 ▲別学校

※学校名は一部省略して紹介しています。

※1 2026年4月 新開設



共学校

本庄東高等学校附属中学校

【学校HP】 <https://www.honjo-higashi.ed.jp/>

〒367-0025 埼玉県本庄市西五十子大塚318 Tel.0495-27-6711

最寄駅／スクールバス：JR上野東京ライン 湘南新宿ライン 高崎線「岡部駅」から12分、
森林公園・妻沼・藤岡・伊勢崎・龍原からあり。



中3学年主任
福岡恭平先生
「職業や企業を知り、学問と結びつけて社会課題解決を考えることで、“人間的な成長”が見られるようになります」

「中学では、将来の職業に幅広い選択肢を持つことが大切です。具体的な方向性は、高校で見極めていけば十分。そのため土台をつくるのが中学のキャリア教育の目的です」と本庄東のキャリア教育について福岡先生は語ります。

3年間で段階的に職業とキャリアについて学びを

「6年間の中高一貫教育を通じて、このような成功体験を積み重ねていくことで、生徒たちが豊かな人間性と確かな知性を身につけることができます」と福岡恭平先生は語ります。

自分の周りのあらゆる人や物に対して、「素直な気持ちで向き合うこと」を教育の要に置くのが、本庄東高等学校附属中学校です。

「素直な心」は、「学ぶ心」も育てます。学びを通して「わかった」「できた」という成功体験を得ることで、自己肯定感が高まり、ウェルビーイング（個人や社会が幸福な状態）を実現していきます。

「素直な心」で「学ぶ心」を育て、自己肯定感を得る

●キャリア学習計画概要

	活動	1学期	2学期	3学期
1年	職業調べ 校外研修・学校行事 テーマ：科学	・自分史（掲示発表）	・学園祭「職業調べ」 ・国立科学博物館校外研修	・つくばサイエンスツアー
2年	ビジネスチャレンジ 校外研修・学校行事 テーマ：日本文化・伝統	・野村ホールディングス特別授業「起業の仕方」 ・ジャガイモプロダクトチャレンジ ・歌舞伎鑑賞教室	・学園祭「ビジネスチャレンジ」 ・京都奈良校外研修	野村ホールディングスビジネスチャレンジ発表会 ・大相撲観戦
3年	ソーシャルチェンジ学問研究 校外研修・学校行事 テーマ：国際理解	・TGG (Tokyo Global Gateway) 校外研修	・学園祭「ソーシャルチェンジ」 ・オーストラリア修了研修「アクティブ・チャレンジ」(英語でのプレゼンテーション)	・ソーシャルチェンジ校内予選→全国大会 ・学問研究（卒業研究）

を広く調べ、中3で社会課題と学問を結びつけて考える、という段階的なプログラムを用意。このプロセス自体が、生徒の個人としての成長を促すこととなります。

中1では「職業調べ」で、世の中どんな仕事があるのかを知ることから始めます。

大きな刺激となる 企業特別授業

企業のビジネスパーソンが授業に参加し、生徒と一緒に社会の問題解決や新たなビジネスチャンスを見出し、提案していくプログラム。一方的な講演ではなく、ワークショップ形式で企業の働く大人との対話から、さまざまなヒントや気づきを得られる。



「中学生は社会に触れる機会がまだ少ないので、職業そのものを知ることと選択肢を増やすことを目的としています」

そのため、普段から生徒たちが接する仕事だけでなく、中学生にはイメージしづらい商社やコンサルタントなどもあえて加えることで、「こんな仕事もあるんだ」という気づきを得ることができそうです。

中2の「ビジネスチャレンジ」では業界別に企業を調べて比較。ポジションマップを作成することで、ビジネスチャンスがある領域を見つけて、新しいビジネスを考案します。

「単なる知識の暗記ではなく、現状を分析して課題を見つけ、それを解決するアイデアにまで落とし込む。こうした思考のプロセスの体験を重ねていきます」

さらに卒業生や社会人、企業などの外部の力も取り入れ、アイデアをより具体的にブラッシュアップしていきます。

「プロの大人の視点から助言をもらうことで、社会で通用する考え方も触れることができます」

キャリア学習の総仕上げとして、中3では「ソーシャルチェンジ」に取り組みます。ソーシャルチェンジでは、身近な困りごとや社会課題をテーマにし、大学の学問分野と結びつけながら解決策を考えます。

「自分の関心のある分野と社会の課題を結びつけることで、大学での進路選択やその後の職業選びに直結した学びを得ることができます」

**学園祭で成果を発表し
伝えることの成功体験を**

いずれの学年も、キャリア学習の成果を学園祭で発表。「自らの学びを人に伝える」成功体験は、その後の大きな自信になっていきます。

自分の関心を出発点に社会とつながり、その中で学びを深める。この積み重ねが「素直な心」を育み、未来を切り拓く力になっていきます。

3年間のキャリア教育で進路の土台を築き、 人間的にも大きな成長を遂げる

新しいビジネスを考える 思考力や発想力を学ぶ



小林樹直くん

これまでのキャリア教育で、印象に残っている活動は何ですか。

小林くん 中2で取り組んだ「ビジネスチャレンジ」です。GAFAM世界的なIT企業、グーグル・アップル・メタ（旧フェイスブック）・アマゾン・マイクロソフト）を調べて、そこから新しいビジネスを考えました。

調べ学習を進める中で、どんな発見がありましたか。

小林くん 僕の担当はマイクロソフトでした。Microsoft 365のように複数のアプリをまとめて管理できるサービスや、AIとの連携に力を入れていることも新たな発見でした。

そこからどのようなビジネスのアイデアを考えたのですか。

小林くん 僕たちの班は「災害対策サービス」を考えました。今ある「アラート」は夜中に突然鳴っても、実際に行動に移せる人は少ないと思うんです。それを解消するために、事前準備ができる情報提供の仕組みを考えました。具体的にはハザードマップを見られるアプリや、災害時に必要なもののリ

ストなどです。

このアプリをGAFAMが持つ膨大な情報やネットワークと組み合わせれば、よりたくさんの人を災害から救えるだろうと考えました。

中3で現在、取り組んでいる「ソーシャルチェンジ」についても聞かせてください。

小林くん もともと動物が好きなこともあって、「獣医学」の分野について調べています。医学や工学と組み合わせることで、どうしたら社会課題を解決できるかを考えています。

キャリア教育は自分の将来のキャリア観にどんな影響を与えていますか。

小林くん キャリア教育の新しいビジネスを考える活動で「思考力」や「一見、関係のなさそうなものを組み合わせる発想」の大切さを学びました。その力を生かして、将来は社会に役立つ仕事をしたいですね。父が建築家なので建築にも興味がありますし、獣医学も学んでみたいと思っています。



パワーポイントを使って「ビジネスチャレンジ」の成果を発表する生徒たち

仲間との対話で 新しい発見を得る



吉永葵泉さん

キャリア教育で、印象的だった活動を教えてください。

吉永さん 私は中1の「職業調べ」で、総合商社を調べたのが印象的でした。商社にはほんやりしたイメージしかありませんでしたが、インターネットや本、図書室の資料などを使って調べてみると、貿易など海外とのつながりが多いことを知りました。特に総合商社はさまざまな会社や海外と結びついていて、これから重要となる分野だと感じています。

職業調べのグループワークでは、どんな学びがありましたか。

吉永さん 仲間と意見を交換することで、自分にはない視点に気づけました。自分の考えもしっかり伝えて、仲間の意見と組み合わせると、そこからまったく新しい意見が生まれていきます。そんな体験がとても勉強になったと思います。

中3の「ソーシャルチェンジ」では、何を調べているのですか。

吉永さん SDGsの「経済成長」と「ジェンダー平等」です。私は「経済学」を担当していて、同じグループのほかのメンバーは「情報」や「外国語学」などを調べています。女性の賃金格差、特定の職業に女性ばかりが集中していることなどを課題のテーマとして、どうすれば男女が平等に働けるかを考えていきます。



「きりぐるま祭」の連携授業として、2年次に起業についての特別授業を実施

経済学は難しい部分もありますが、身近なニュースともつながっているのが面白いのです。以前は宇宙飛行士に憧れていましたが、今はまだ将来の職業をはっきり決めていません。この先、将来のキャリアにつながるような興味のある分野ができたらず迷わず挑戦したい。そのために苦手な分野にも積極的に手を伸ばしていきたいです。

INFORMATION

■ トライアルテスト

※要予約

11月9日(日)

9:00~

※小6対象

■ 入試問題解説授業・

受験相談会

11月22日(土)

9:30~12:00

※受験相談会は解説授業と同時開催

※詳細は学校HP

共学校

武蔵野大学中学校

[学校HP] <https://www.musashino-u.ed.jp/>

〒202-8585 東京都西東京市新町1-1-20 Tel.042-468-3256 (一般のお問い合わせ：中高事務室)
042-468-3377 (入試に関するお問い合わせ：入試広報部)
最寄駅／JR「吉祥寺駅」「三鷹駅」「武蔵境駅」・西武線「東伏見駅」からバス「武蔵野大学」。
西武線「田無駅」「ひばりヶ丘駅」からバス「向台町一丁目」。

【興味や進路に合わせたコース】
中学の3年間は、「グローバル＆サイエンス」をテーマに、『世界に貢献できる人材の育成』と『論理的・科学的思考力を養い、社会の課題を解決しようとする人材の育成』を目指します。「グローバル」では、英語を

創立100周年を迎える歴史と伝統ある学校でありながらも、革新的な学びへと躍進していく武蔵野大学中学校・高等学校。大学、幼稚園と共存する広いキャンパスには、新たに図書館と駐輪場付き体育施設が誕生。共学化一期生として入学した生徒たちが、この春、晴れて卒業を迎えました。

共学化と共にスタートした、6年間を通じた独自の探究の学びは、単なる一部の取り組みにとどまらず、いまやすべての教科や学校生活、進路や夢にまでつながる大きな力となっています。同校では「チャレンジ」を合言葉に、中高6年間の学びで社会課題を解決し、世界に貢献できる力を身に付けていきます。



ツールに仲間と共同し、課題解決力を養成します。「サイエンス」では、身の回りの課題を明確にし、その解決のためにトリアル＆エラー、仮説・検証プロセスを繰り返し、高度な実験なども通して、論理的思考力を育みます。2025年より実験を主体とした理科授業へと発展しました。

高校からは、3つのコースに分かれます。医学部・国公立・難関私立大学を目指す「ハイグレード」、海外大学や国内の国際系難関私大を目指す「PBLインターナショナル」、武蔵野大学への進学も視野に入れた「本科」です。

中学の3年間、そして高校での3年間もどのコースを選んでも、探究的な学びは継続されています。

【中学は「言語活動」と「PBL」】

中学の探究の軸となるのが、「言語活動」と「PBL」です。どちらも教員がプロジェクトチームを組み、一から議論と試行錯誤を重ねて作り上げたプログラムです。

「言語活動」は週に1時間。今ではオリジナルの教科書もできましたが、毎年内容の見直しが行われているという熱の入れようです。この授業では、教科の枠を超えて全ての基礎となるアカデミックスキルとマインドを養います。マインドマップの書き方やプレゼンやスピーチの基礎だけでなく、互いに信頼関係の基礎となる心理的安全性を高めることも重視された内容になっています。

一方で、それと対になるのが、週

2時間の「PBL（プロジェクト・ベースド・ラーニング）」の授業です。教科の知識やアカデミックスキルを活用して、学年テーマに沿ったプロジェクトに取り組みます。

「マインドやスキルを身につけ、個人ワーク、ペアワーク、チームワークなども繰り返し経験した生徒たちは、高校に上がる頃には何かの課題にぶつかるとマインドマップを描いたり、ブレインストーミングをしたり、プリアリという活動を当たり前のように行うようになっていました」と、探究的な学びのデザインに初期から関わってきた入試広報部長の小幡武憲先生は言います。

中1で「自己理解」、中2で「他者理解」、中3で「社会接続」を軸に探究的学びを深めて、高1の「課題発見」、高2の「課題解決」、高3の「社会貢献」へと続きます。

【高校はコースの特色ある探究】

高校1、2年では「MAP (Musashino Arts Project)」というそれぞれのコースの独自性を活かした探究プログラ



中2の探究授業で取り組んだ「藍染プロジェクト」



高校 3年
「社会貢献」

高校 2年
「課題解決」

高校 1年
「課題発見」

中学 3年
「社会接続」

中学 2年
「他者理解」

中学 1年
「自己理解」

Global&Science
言語活動⇄PBL

MAP

ハイグレード
アカデミックマインド

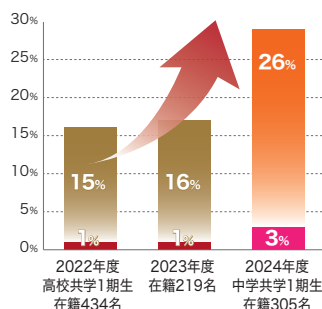
PBL インターナショナル
アントレプレナーシップ

本科
LAM & My Vision

共学化一期生が卒業し、叶えたい進路を実現！ マインド・スキル・PBL を6年間探究

国公立・早慶上理 ICU GMARCH 推移 (合格者数/生徒数)

■ 早慶上理 ICU GMARCH
■ 国公立



国公立	
東京農工大学	1名
東京海洋大学	1名
千葉大学	1名
埼玉大学	3名
東京学芸大学	1名
東京都立大学	1名
医学部医学科	
東邦大学	1名
聖マリアンナ医科大学	1名
近畿大学	1名
早慶上理ICU	
早稲田大学	3名
慶應義塾大学	3名
上智大学	4名
東京理科大学	4名
国際基督教大学	3名

ムにチャレンジします。
「ハイグレード」では、身の回りの「なぜ」を研究し、仮説検証します。「PBLインタナショナル」では、アントレプレナーシップを学び、ビジネスコンテストにも挑戦。正解のない問いに仲間と共に多角的アプローチをし、主体的で共働的な学びを実現します。
「本科」では、「LAM」と呼ばれる一般教養の授業を1年間で2つ選択できます。
「映像制作、ソーシヤルダンス、哲学対話、アートシンキングなど、外部企業とのコラボレーションで展開される授業は、生徒たちにとって新たな視野を広げる機会となっています。その後、高2の「My Vision」では自分の研究対象を決め、自己の可能性を広げ、進路へと繋げていきます。

探究力を定着するメタ認知

さらに今年度から、探究の学びをさらに客観視して自己理解や振り返りにも活用できるようにメタ認知力を高めるために新たな2つのメソッドを取り入れています。

1つ目が、計画・実践・振り返りの習慣化のためのスケジュール帳記入「ムサログ (Musashio Logbook)」です。1週間ごとに予定を立て、振り返りを記入することで自分を俯瞰し、自己管理能力・調整力を身につけます。中1から高3まで担任が毎週チェックします。

2つ目が、非認知能力であるコンピテンシーの定点観測として、AIによる生徒の気質や能力観察です。同校の「六つの学習者像」の項目に分けて、学校行事や探究活動での成長を可視化し、次の活動へと繋げていきます。

多様な進路を叶える力

こうした6年間の探究の学びを経て卒業した1期生の進路は、大きく飛躍しました。

「大学名や偏差値で進路を選んではいませんが、多様な進路選択や目標が明確になった結果、合格実績も大きく飛躍しました。さらに国公立、私立難関校だけでなく、医学部、薬学部、海外大学への合格者・進学者も増え、まさに自分に合わせた進路実現になりました」(小幡先生)。
さらに、「PBLインタナショナル」

ナル」コースの約半数が1年間の海外留学をしています。カナダ、オーストラリア、ニュージーランド、アメリカの約60校の協定校への留学も可能です。帰国後も単位認定を受け、そのまま留年せずに卒業・進学します。

また、中1から高3まである「宗教」の授業で、様々な宗教、生と死、差別、倫理観など多様な価値観や自分の心にあるものを対話を通して考える機会も、多感な中高時代の核として重要な役割をしているようです。

「生徒たちは探究的な学びを通して『なぜ学ぶのか、何を大事だと感じ、何をしたいのか』を繰り返し考えてきているので、進路を選ぶ際には「この学科、この学部で何を学ぶのか」がはっきりしていました」
こうした1期生が卒業し、続く在校生たちもさらに多様な選択肢を考えているそうです。



今年度から中1～高3まで導入された「ムサログ」。記入方法から指導してくれる。

〈新施設完成！ MUseion と Sports Park〉



100周年を記念して新しく完成した2つの施設。図書館機能を備えた4階建ての学びの施設 MUseion は、読書だけでなく、個人からグループまで目的に合わせた学習スペースや、110インチのスクリーンが使えるレクチャールームまであり、コンセプトは知識の樹。一方、駐輪場を地下に完備した人工芝のスポーツパークでは、バレーボール、ハンドボール、バスケットボールなどを楽しむことができます。どちらも授業、休み時間、放課後も生徒たちの新たな居場所として大人気です。

INFORMATION

- 授業見学会 ※要予約
10月18日(土) AM
11月15日(土) AM
- ミニ説明会 ※要予約
2026年1月17日(土)
- 樹華祭(文化祭)
11月8日(土)・9日(日)
- 入試対策会
11月23日(日) AM

6年間で「学び」と「課題」を形にする力を培ってきた生徒たちだからこそ、自らの原動力を知り、将来像をより明確に描けるようになりえます。その着実に魅力的な成長ができる6年間で、同校では待っています。

共学校

東京農業大学第三高等学校附属中学校

[学校HP] <https://www.nodai-3-h.ed.jp>

〒355-0005 埼玉県東松山市大字松山1400-1 Tel.0493-24-4611

最寄駅／スクールバス：西武新宿線「本川越駅」、東武東上線「東松山駅」、JR高崎線など「上尾駅」「鴻巣駅」「吹上駅」、JR高崎線など・秩父鉄道「熊谷駅」、秩父鉄道「行田市駅」からあり。

国語科のフィールドラニング「おくのほそ道」。
現地に行った生徒が中3の生徒に向けて発表！3回目となる今年は
黒羽(栃木)へ

芭蕉の足跡をたどる

芭蕉も訪れた雲巖寺(上)と芭蕉の句碑「鶴鳴くや其声芭蕉やれぬべし」(下)。梅雨の空気感、木々の緑、芭蕉が句を詠んだ時の情景…芭蕉に思いを馳せる参加したみなさん。

「未来のリーダーを育てる」ことを目標に、「グローバル教育」「実学教育」「学内完結型教育」を改革の三本柱として様々なプログラムを実践しています。中でも「実学教育」は「本物に見て触れて考える」学びを基本にしていて、「フィールドラニング」では各教科の先生が工夫を凝らした校外学習を展開しています。

国語科では6月1日に「おくの細道を訪ねる黒羽バスツアー」を行いました。このプログラムは中1から

高3までの希望者がおくの細道の舞台となった土地を訪れた後、2学期に国語で『おくのほそ道』について学ぶ中3の生徒を前に、フィールドラニングで体験したこと、学んだことを発表するというものです。

このプログラムが始まったのは一昨年。1回目は深川、2回目の昨年は千住と草加へ、そして、3回目となる今年は栃木県黒羽へと。「おくのほそ道」と同じ道のりをたどり、北上しています。高校の国語主任・阿部美咲先生にお話を伺いました。

「参加者は中1から高3までの希望者で、今年は中学生16名、高校生22名の計38名が参加しました」

黒羽は芭蕉が『おくのほそ道』の旅で最も長い14日間滞在した場所。「木啄も庵は破らず夏木立」と詠ん

発表する側も聴く側も
実りが多かった発表会

行ってきた後は事後学習としてレポートにまとめます。そして、テーマごとに中高混合で5つのグループに分かれ、昼休みを使い、中3生への発表会の準備をします。発表はスライドで写真は一人一枚スライドでつなぎ、一人1分程度のグループ発表を行いました。準備では高校生が中学生をサポートし、中学生は高校生から学び、お互いに良い影響が。

「ふだんは目立たない生徒がスライド作りや発表で力を発揮したり、フィールドワーク当日もリーダーシップをとっていたりする姿を見ました。また生徒たちはみんな学んだことを自分のものとして落とし込み発表していました。一方、中3の生徒からは『高校生になったら自分も参加し

だことでも知られる雲巖寺などを日帰りで訪れました。

「訪問前に事前学習も行いました。訪問日は偶然にも芭蕉が黒羽に滞在したのと同時期です。そのため、芭蕉が見た風景、句を詠んだ時と同じ空気感や雰囲気を実際に感じることができたと思います。また、参加者の中には芭蕉の弟子・曾良の銅像を見たことで『親しみを持って学べた』という感想を述べる生徒もいました」



中3に向けた発表会(事後学習)

発表会は7月11日に実施。中高協力しての発表に真剣に耳を傾ける中3生。ちなみに、中2の国語で学ぶ『平家物語』の那須与一ゆかりの地も近くにあることから、芭蕉や『おくのほそ道』のほか那須与一について学び発表したグループも。

INFORMATION

■学校説明会 ※要予約

12月13日(土)

■イブニング説明会

10月8日(水)

場所:成増(外部会場)

10月20日(月)

場所:大宮(外部会場)

■入試模試体験 ※要予約

11月23日(日・祝)

※詳細は学校HPをご覧ください。

たい』『中1の発表を見て刺激を受けた』という感想が聞かれました」

国語科では今後、漱石の『こころ』をテーマに舞台となった地を歩くことも検討しているそうです。同校は農大の附属校として、理系志向が強いイメージがありますが、文系科目でもこのように工夫を凝らしたプログラムを数多く行っています。

「本校は文系理系問わず様々な『知る機会』を用意しているので視野が広がります。その上で幅広い進路選択ができるのも良い点です」

実体験による学びは記憶にも残ります。志望校に加えてみてくだい。

共学校

星野学園中学校

[学校HP] <https://www.hoshinogakuen.ed.jp/>

〒350-0824 埼玉県川越市石原町2-71-11 Tel.049-223-2888

最寄駅／スクールバス：西武新宿線「本川越駅」、JR川越線・東武東上線「川越駅」、西武池袋線「人間市駅」、JR上野東京ライン 湘南新宿ライン「宮原駅」、高崎線・秩父鉄道「熊谷駅」ほかからあり。



音楽ホールを主な機能とした、1500人を収容するハーモニーホール。著名な音楽家のコンサートや能と狂言、バレエ公演なども行われる。

学校案内をする 田中悠生さん (中3／理数選抜クラス)

小学校の時に家族と一緒に来た入試説明会で、施設を案内してくれた先輩がとても大人っぽく見えて、入学したら僕もそうなりたいと思い、広報実行委員会に入りました。学校の魅力をわかっていただきたいと思い、説明会で紹介する写真やスライド、原稿も自分で考えて作りました。



床が上下可動式の屋内温水プール。



日差しを遮り、風が抜ける星野ドーム（全天候型）。3000人収容可能。



タータントラックで150mの直線コースを設置。夜間照明付き。

「生徒による『広報実行委員会』のメンバーが学校案内」
「知を磨く」「世界につながる」「心を動かす」を教育目標に掲げる星野学園中学校。大切にしているのは、建学の精神「自主・自立」です。自ら求めて学び、自ら行動に移していく姿勢が、「真面目がカッコいい」という校風を自然に育んできました。そうした学校風土に加えて、最新鋭の設備を整えた施設・環境の充実ぶりは目を見張ります。2つの大きな総合グラウンドと全天候型のグラウンド（星野ドーム）を完備し、テニスコートや弓道場・剣道場、トレーニングマシンを備えた2つの体育

館など、埼玉県下でも指折りの施設を備えています。前年度比で川越市の受験生が150%増になったのは、施設面の充実や安定した学校風土が地元で認知されている証です。恵まれた施設・環境の中で、生徒たちは勉強に部活動に、そして学校行事にも全力で取り組んでいます。受験生向けのオープンスクールでは、生徒たちが受付に立って来校者に対応していました。今年度から発足した「広報実行委員会」のメンバーたちです。説明会終了後は、2人1組になった生徒たちが来校者の施設案内をしていました。同委員会を率いる中3の田中悠生さんは、「みんな勉強も部活動も頑張っているし、

学校行事に一致団結できること」と学校の良さを話してくれました。
入学後の学力推移調査で高い伸びを示す

学習面での同校の特徴は、英国数の授業時間数は公立中学校の1.5倍を確保しており、入学後の学力推移調査の伸びが高いこと。中学は「理数選抜クラス」「進学クラス」の2コース制で、レベルに応じた習熟度別授業によって学習の定着度を高め、学ぶ意欲を育んでいます。特に力を入れている英語教育では四技能向上に重点を置いて、来年度からケンブリッジ大学出版の教材を採用。ネイティブ教員も交えたオー

生徒が主役だから「学校説明会」も生徒主導 恵まれた施設・環境で伸び伸び、実力をつける

ルイングリッシュの授業を展開。中3でCEFRのA2取得を目標にしています。

ちなみに、「広報実行委員会」の田中さんの好きな教科は英語。「授業で英語を面白く教えてくださるの」で、入学してからどんどん好きになりました。将来は、英語を活かした仕事をしたいと思っています」

来年度の「理数選抜入試へ特待生」合格者は全員特待生に

最後に、受験生に要チェックの情報を。同校では2026年度入試内容が一部変更になります。難関国立大学を目指す第1回「理数選抜入試」を特待生入試とし、国・算・理の3教科で受験できます。また、第1回の理数選抜合格者には全員、特待生の資格が付与されます。理系・文系どちらの進路にも対応したクラスなので、ぜひ挑戦してみたいかがで

INFORMATION

- 入試説明会 ※要予約
10月13日(月・祝)、11月3日(月・祝)
11月23日(日・祝)、12月7日(日)
各10:00～
- プレ入試(小5と保護者対象) ※要予約
2月1日(日) 9:00～
- 学校見学随時可能 ※要予約
※詳細は学校HPでご確認ください。
- 入試日程
1月10日(土) 午前(進学)・午後(理数特待)
1月11日(日) 午前(理数)・午後(進学)
1月14日(水) 午前(総合選抜)

男子校

城北埼玉中学校

[学校HP] <https://www.johokusaitama.ac.jp/>

〒350-0014 埼玉県川越市古市場585-1 Tel.049-235-3222

最寄駅／JR川越線「南古谷駅」・東武東上線「上福岡駅」徒歩25分ほか。

スクールバス：「南古谷駅」・東武東上線「ふじみ野駅」、西武新線「本川越駅」からあり。

2026年度入試より1クラス30名に。
重要視されている「非認知能力」を高める大改革は
来年度入学生から

「着実・勤勉・自主」の校訓のもと、「人間形成」と「大学進学指導」を二本柱として教育を行っている城北埼玉が、2026年度入試より大きな改革を実施します。これまで1クラス40名でしたが、来年度入学生以降は1クラス30名になります。また学力別でクラス分けをしていましたが、それも撤廃。フラットなクラス編成になります。これらの改革の理

注目
1クラス40名
↓
1クラス30名へ

由を教務部部長の林克明先生と教頭の谷嶋良夫先生に伺いました。

まず林先生は「今の子どもたちが大人になった時には、今まで以上に学力以外の力も必要とされる、と考えました。例えば人間力とも言える非認知能力や経産省の『未来人材ビジョン』でも打ち出された『夢中に学び続ける姿勢』『社会課題を解決する意欲』『多様性を受容し協働する力』などです」と教えてくれました。

グループワークや
校外学習をさらに深める

生徒が前述の力を身につけるために、従来から行っていたグループでの校外学習や新聞を使った学びをさらに深化させています。

「これらの学びが学習意欲の向上のみならず様々な活動に前向きに取り組む生徒が増えるといった成果として現れているので、クラス人数を少なくしてさらに学びを深めようという決断に至りました」と谷嶋先生。

例えば、現中3生が2年次に行った鎌倉校外学習は、旅行会社の社員として魅力的なプランを作成するという設定で行われました。

「その時期、松葉杖を使っている生徒がいたので、その生徒のグループは鎌倉で車椅子をレンタルし、鎌倉の街のバリアフリーを調べることにしました。興味深いテーマですね。また一般の方にインタビューして自



鎌倉がバリアフリーになっているか検証したグループ

分たちのプランを調整するという課題にどのグループも果敢に挑戦していました」（林先生）

このように、グループワークでは生徒は主体的に活動し、準備や振り返りも行います。そして、中1と中2での学びが中3の修学旅行へとつながっていきます。

また、グループワークではふだんの授業やペーパーテストだけでは見えない一人ひとりの力が見えてきます。「例えばグループワークをまとめていくのが上手な生徒がいたり、発表が得意な生徒がいたりとお互いを認め合えるようになります。クラスサイズを小さくしたのは、教員が生徒の非認知能力に注目し、より安心な環境を作るためでもあります」（林先生）



鎌倉でインタビューに挑戦！ インタビューする内容は事前にグループで話し合っていたそう

INFORMATION

■学校説明会

※要予約

10月25日(土) 10:00~12:00

11月15日(土) 10:00~12:00

■入試直前説明会

※要予約

12月13日(土)

10:00~12:00、14:00~16:00

12月14日(日)

10:00~12:00、14:00~16:00

※詳細は学校HPをご覧ください。

また、中学生はふだんから新聞を使った学びを行っています。例えば、その日の担当の生徒が新聞を読み、翌日みんなの前で発表。何が書かれていたのか、またそれについてどう思ったか新聞ノートにまとめます。「今の中学生は新聞を取っていない家も多いです。また知識の偏りが感じられます。そんなことから新聞を読むことによって知識の幅を広げてほしいですし、社会で起きていることに関心を持ってほしいと考えております」（林先生）

谷嶋先生にどんな生徒に入学してほしいか聞いたところ、「本校はどんな生徒にも居場所があり、主体的に学ぶことができる学校です。いろいろなタイプの受験生に挑戦してほしいです」とのこと。

さらに、30歳を超えたOBや自分の子どもを連れ遊びにくるOBもいるとも。卒業後、何年経っても遊びに来るといことはよほど居心地がいい学校だったに違いありません。そんな同校の新しい挑戦。学びを深めに志望してみませんか。

男子校

桐朋中学校

[学校HP] <https://www.toho.ed.jp>

〒186-0004 東京都国立市中3-1-10 Tel.042-577-2171

最寄駅／JR中央線「国立駅」・JR南武線「谷保駅」徒歩15分。

「国立駅」「谷保駅」から立川バス「桐朋」または京王バス「桐朋学園」。

生徒を研究者にする「みや林」
桐朋のキャンパスのうち4000㎡をも占めるのが、「みや林」と呼ばれる雑木林です。みや林の整備を担当している「造園委員会」の委員

東京を横断するJR中央線の国立駅、登戸や武蔵小杉にもつながるJR南武線の谷保駅、それぞれから徒歩15分の桐朋中学校。立川駅では多摩都市モノレール、西国分寺駅ではJR武蔵野線に接続。国立駅からは各方面へバスも発着し、東京・神奈川・埼玉から通いやすい立地です。文教都市・国立の中心にあるキャンパスは、四季折々の自然に恵まれ、都内とは思えないほど落ち着いた環境です。

アクセスのいいキャンパス



みや林

4000㎡のみや林や充実の施設 夢中になれる環境で見つける自分の興味

長であり生物科教諭の宮下彰久先生は言います。

「みや林にはクスギやコナラ、アカマツ、ソメイヨシノ、キリなど30種類以上の木々が育ち、オオタカやツミといった希少な鳥や多くの昆虫も棲息しています。こうした生態を守るためには、人の手も欠かせません。定期的に間引きや剪定を行い、専門家と相談しながら健全な林を維持しています」

みや林は生物部をはじめとする生徒たちの観測・研究の場でもあります。長期休みからちよつとした休み時間や放課後まで、オオタカからアリまで、生徒たちは時間を見つけては自主的に観察と調査を続けています。

「生物部では月に一度、夜間に残って蛾の採集と調査を行ったり、夏には近くの用水路でハクログトンボの棲息状況を追いつたりしています。環境の変化と生態系への影響を長年記録し続け、その成果を学会で発表することもあります」

シジュウカラの鳴き声を聞き分け、東京大学准教授で「動物言語学」を創設した鈴木俊貴さんもこの林で観察を重ねた卒業生の一人です。

学びも運動も120%充実の施設
充実した広さと施設は、心身とも



図書館



広い校舎



グラウンド



プラネタリウム



天文台

に大きく成長する男子中高生活を十分に支えてくれます。6万5千冊の蔵書を誇る図書館や天文ドーム、プラネタリウム、化学実験室など、知的好奇心を刺激する施設が整っています。一方で、サッカーなど公式試合の規定を満たした広さがあるグラウンドや野球場、テニスコート、プール、4つの体育室、柔道場、トレーニングルームも完備。加えて約

400人収容のホールやラウンジ、食堂まで、生徒一人ひとりが自分の居場所を見つけられる環境です。「スポーツでも、生物でも、勉強でも、何か夢中になれることが見つければいいんです。やりたいことを追求していけば、人生幸せになりますよね。今は興味や熱中できることを持つていなくても、これだけ色々できる環境があるので入学してから見つける子は多いです」と、広報部長の河村理人先生。

のびのびと興味のあることに挑戦し、自分の道を切り拓いていける6年間がここにはあります。

INFORMATION

- 学校説明会 ※要予約
11月22日(土) 14:00～
- 校内見学会 ※要予約
11月16日(日)

共学校

工学院大学附属中学校

[学校HP] <https://www.js.kogakuin.ac.jp/>

〒192-8622 東京都八王子市中野町2647-2 Tel.042-628-4914

最寄駅／JR「八王子駅」・京王線「京王八王子駅」、JR「拝島駅」、京王線「南大沢駅」、「新宿駅」からスクールバスあり

中高主催による開催は、今年で4回目 小学生対象の「夏休み自由研究教室」

文理問わず、多彩な講座が選べる
先生方手作りのワークショップ

工学院大学附属中学校・高等学校では、7月27日に小3以上の小学生を対象とした「夏休み自由研究教室」を開催しました。以前は毎年夏休みに工学院大学が開催していた「わくわくサイエンス祭」に中高のブースをいくつか設けて参加していましたが、コロナ禍で大学主催のイベントが中止に。そして、3年前から現在の開催方式となり、中高の先生方が中心となって手作りのワークショップを実施しています。文系・理系などの分野を問わず、実験、ものづくりなどの多彩な講座（今年度は28講座）があり、先生方が自身の専門や得意分野を活かして指導にあたりました。また、約90人の中高の生徒た



小学生に学校の良さを知ってほしいという思いから、「藍染でオリジナルトートバッグづくり」のボランティアに参加したY.F.さんとN.H.さん（ともに中1）



電磁石が何個のクリップを引き寄せたのかを確認

ちがボランティアで参加。大学の先生や学生が担当する講座もあり、中高大連携の一環にもなっています。

ネイティブの先生が電磁気の講座を担当

同校は理系大学附属校ということに加え、インターナショナルコースがあり、グローバル教育に力を入れていることが特徴です。今回の自由研究教室では「英語で実験！サイエンス（電磁気）」の講座をネイティブで理科が専門のブランドン・リンゼイ先生が担当。バッテリーとワイヤーを使ってマグネットを作りしました。昨年は生物分野でネイティブの先生による「英語でDNA抽出実験」を行い、今年は物理分野の実験をしてみようということになったのだとか。ボランティアで参加したインター

ナショナルコースのY・Dさん（高2）は「以前、外部で子どもたちと接する機会があり、楽しかったので、このボランティアに参加しました。参加した小学生たちは素直で教えやすかったです」と話してくれました。

火打ち石で火を起こし、火の便利さと怖さを学ぶ

一方、理科（化学）の村山裕樹先生が担当した「原始にかえろう！火打ち石で火起こし」の講座では、焚き火台に麻ひもをほぐして設置し、火打ち石に火打ち金を打ち付けて火花を散らし、火吹き棒を吹いて、実際に火を起こしました。参加者の親子は火がなかなかつかないなど、苦労しながらも楽しんでいた様子。村山先生は「最近、1日などの普及で火が身近ではなくなってきた



火起こしの準備について説明する村山裕樹先生

INFORMATION

※すべて要予約

- 学校説明会
10月18日（土） 14:00～
（授業・部活動体験）
- 体育祭 ※個別相談コーナーあり
10月30日（木） 10:00～15:00
- 入試予想問題体験会（小6）
11月23日（日・祝） 13:00～
（※4科・2科、適性検査型、英語より選択）
- 工学院クリスマスフェスタ
12月20日（土） 13:30～
※苦手科目克服講習会（小6）
- 入試対策説明会
1月10日（土） 14:00～

※詳細は学校HP



火を起こす小学生をフォローするY.N.さん（中1）

ので、子どもたちに火の便利さと怖さを知ってほしいという思いがあり、この講座を開きました。ボランティアの中高生には自分より年下の子どもと接して、コミュニケーションや教えることの難しさなどを学んでくれたら」と話します。中1のY・Nさんは自動車部に所属する理科好きで、「教えるのが楽しそうだから」とボランティアに参加。高2で理系クラスのK・Tさん、Y・Aさんとともに丁寧に小学生をフォローする姿が印象的でした。参加した小学生も同校での体験は心に残るものとなったことでしょう。

共学校

東京電機大学中学校

[学校HP] <https://www.dendai.ed.jp/>

〒184-8555 東京都小金井市梶野町4-8-1 Tel.0422-37-6441

最寄駅／JR中央線「東小金井駅」徒歩5分。



「5つの力」を育む多彩なプログラム

東京電機大学中学校（TDCU）では「人間らしく生きる」という校訓に加えて、「5つの力」を身につけることを目標としています。「5つの力」とは、近未来社会において、これを身につけていけば生き抜けるだろうという力で、「視野の広さ」「冒險心」「向上心」「共感力」「専門性」です。

この「5つの力」を育むプログラムの一環として、同校では2021年から、独自教科「探究」を設定しました。「課題認識→調査・分析・思考→まとめ・表現→新たな課題認識」というサイクルを回しながら、「チャレンジ精神旺盛な自立した人間」を育てています。

また同校では、「5つの力」を身につけるために、他にも多彩なプログラムを用意しています。

理科・社会見学会もその一つです。中学1年生で行う「野川見学会」では、授業で学んだ地形図の読み方を利用して、国分寺崖線（ハケ）に沿って実際に歩きます。鎌倉幕府を学べば、いざ鎌倉へ！裁判制度を学べば、裁判傍聴へ…。知識を体験によって「実践的なものにする」教育がTDCUには根づいています。

その他にも希望者参加型のプログラムに毎年、東日本大震災の被災地を訪れるスタディツアーがあります。語り部を行っている同世代の学生や先生から被災体験を聞く体験は、生徒たちの心にも強烈な印象を刻みます。また震災の時の避難方法や復興における問題点をグループで考えていきます。

また、カンボジアボランティアツアーもあります。このツアーでは現地の小学校で日本語や英語を教えるボランティアを行い、カンボジアの歴史を市内ツアーで学びます。入試広報部の阿部先生は、「東南アジア最貧国の実情を見て、世界が抱える問題について、自分たちが解決できることを探すきっかけになっているようです」と話してくれました。

これからの世の中で必要とされる「5つの力」「情報教育」ひとりじゃないから続けられる——放課後学習支援

伝統の情報教育

これからの世の中で必要なもう1つの力は「プログラミング」です。TDCUでは開校当時からプログラミング教育が行われています。中学1年生時には、ブロックをドラッグ＆ドロップで組み合わせっていく簡単なプログラミングを行います。高校1年生時には、コンピュータ言語を使って、実際のプログラムを構築します。

「数十年前、ワープロしかなかった時代には、WordやExcel、インターネットを誰もが使ったような世界は想像できませんでした。今、世界の人たちとコミュニケーションを図る時代になりましたが、プログラミングは、英語などの言語と同様に



コミュニケーションの1つとなっていくでしょう。」と情報理工科主任の山住先生は言います。本格的なプログラミングを学べるのは「TDCUならでは」でしょう。

大学生の学習メンターが常駐放課後の学習を支援

今年度から始まった「放課後学習支援」は、教育支援事業を行う会社から研修を受けた大学生を「学習メンター」として本校に派遣してもらう取り組みです。放課後のカフェテリアを利用したこの「メンター自習室」は、友達同士で相談しながら学ぶことができ、疑問があるとメンターからアドバイスをもらいながら進めることができます。学習メンターには、日々の学習方法や大学での学びについても尋ねることができ、生徒たちのよきロールモデルにもなっています。生徒の中には「静かな自習室よりも勉強に向かえる」という声も。進路指導部長の星野先生は「1人では挫折してしまいがちな課題でも、友達やメンターの力を借りながらチャレンジしていける生徒を育てていきたいですね」と話してくれました。

INFORMATION

■中学校説明会

11月15日(土)	14:00~15:30
12月21日(日)	10:00~12:30 ※過去問題解説会
1月6日(火)	14:30~16:00 ※対象 小6入試体験
1月17日(土)	14:00~15:30 ※対象 初めての方

■個別見学

随時受付。Telでお問い合わせ下さい。

※詳細はHPをご参照下さい。

共学校

桜美林中学校

[学校HP] <https://www.obirin.ed.jp/>

〒194-0294 東京都町田市常盤町3758 Tel.042-797-2668

最寄駅／JR横浜線「淵野辺駅」徒歩20分。JRなど「町田駅」からバス「桜美林学園前」ほか。

スクールバス：京王線・小田急線・多摩都市モノレール「多摩センター駅」、「淵野辺駅」からあり。

桜美林は留学プログラムが充実。
シンガポール研修で視野を広げました！



(左から) 研修に参加して「英語を活かせる仕事に興味を持ちました」R・Oさん／「かけがえのない友人ができました」K・Aさん／「夢は外交官。そのためにも英語を磨きたいです」A・Hさん／「中1、中2のキャリアガイダンスで、社会福祉士が目標に。最終日のユニバーサルスタジオで後輩のピンチを救うことができ、自分に自信をもつことができました」A・Iさん

中2から参加できる機会を設けて
視野を広げ、主体性を育む

桜美林の建学の精神は「キリスト教精神に基づく国際人の育成」です。自分だけでなく、人や社会のために学ぶことを伝統とし、世界を視野に入れた教育に力を入れています。

この夏、「シンガポール語学研修」(English Study Tour in Singapore)に参加した中3生4名に同校の魅力を尋ねると、1番多く声が上がったのが「国際交流プログラム」でした。中3の12月に全員参加の「オーストラリア研修旅行」がありますが、中

異なる文化や価値観を五感で受け止める 「留学プログラム」は成長を加速させるカギ

2から参加できる希望制の留学プログラムも豊富で、毎年、多くの生徒が主体的に参加し、成長を加速させる気づきを得ています。

バレーボール部で活動するA・Hさんは、英語力を試したくて、語学研修に興味を持ちました。ところが、第一希望のプログラムと合宿の日程が重なる心配があり、やむなく断念。あきらめずに済んだのは、実施時期が異なる選択肢があったからです。「海外に目が向いた今」を逃したくなかったため、シンガポール語学研修に参加しました。

英語は得意科目ですが、現地で取り組んだグループワークで、「なぜ、そう考えたの?」と先生から問われるたびに、自分の考えを英語で説明することの難しさを痛感。その体験から得た「なんで」をうやむやにしないという教訓を、学校生活に活かしています。

K・Aさんと、R・Oさんは「現地で出会った日本人の高校生や大学生に感化されて、英語を学ぶ意欲が高まっている」と言います。

「たった一人で参加している人もいました。うまく表現できていない部分があっても、伝えようとする姿がかっこいいなと思う、自分もそうなりたいたいと思いました」(K・Aさん)

桜美林には姉妹校が多く、海外に

行かずとも来校した留学生と交流する機会があります。特にK・Aさんが所属する書道部は、留学生に教える機会もあるもので、今後はこれまでに以上に積極的にコミュニケーションをとる姿が見られるのではないのでしょうか。

「相手を理解することの重要性は、 「人」も「国」も「文化」も同じ

「シンガポール語学研修」は英語を学ぶだけではありません。フィールドワークを通してシンガポールの文化を学び、成果を発表しました。プログラムの後半には、現地の大学を訪問し、大学生と交流したり、サステナブルギャラリーを見学したりして見聞を広げました。

CYA (Christian Youth Association)で社会福祉活動に取り組むR・Oさんは、「サステナブルギャラリーで学んだシンガポールの水やゴミの事情に興味を持った」と言います。

「環境問題がより身近になりました。できることから行動につなげていきたいと思っています」

IFC (International Friendship Club) は、各国の文化に触れる活

◀シンガポールのムスリムコミュニティ「サルタンモスク」。

▼語学学校の交流会では英語を使って楽しみました。



◀自らの足で文化を学んだフィールドワーク。

INFORMATION

- 学校説明会 ※要予約
11月8日(土) 14:00~15:30
- 総合学力評価テスト体験会 ※要予約
12月13日(土)
9:30集合(受付8:50から)
- 入試説明会 ※要予約
12月13日(土) 14:00~15:30
- クリスマス・キャロリング ※要予約
12月20日(土) 16:00~17:00

※詳細は学校HPをご覧ください
入試説明会は年明けにも実施します

動をしているA・Iさんは、「リトルインディアで寺院などを見て、(僕が知る) 神道や仏教、キリスト教などとの信仰のスタイルの違いに驚きました。異なる文化や歴史を理解することは、人間関係を築く上で相手を理解することと同じで、すごく大事なことだと思います。桜美林はいろいろな場面でそういう力が身につく学校だと僕は思っています」

共学校

明治大学付属明治中学校

【学校HP】 https://www.meiji.ac.jp/ko_chu/

〒182-0033 東京都調布市富士見町4-23-25 Tel.042-444-9100

最寄駅／京王線「西調布駅」徒歩18分。京王線「調布駅」・JR「三鷹駅」「武蔵境駅」・小田急線「狛江駅」から
小田急バス「大沢コミュニティセンター」ほか。
スクールバス：「飛田給駅」「三鷹駅」「矢野口駅」ほかからあり。

女子部員も原動力となり、ブロック大会優勝！ 男女関係なくやりたいことをやれる環境がある！

野球部唯一の女子選手 三井さんにインタビュー！

3月の春季わかば杯、7月の東京都第9ブロック選手権大会で優勝するなど、輝かしい成績を収めた中学野球部。その中で明治中学校野球部史上初の女子部員である三井さん、も大活躍しました。

8月2日（土）に行われた引退試合でも2塁打を放って躍動した三井さん。試合後、入部理由や活動についてお話を伺いました。さらに、中3男子部員のみなさんと、三井さんのご両親にもお話を伺うことができました。

——入部理由を教えてください。

三井さん 小学生の頃、地域の野球クラブに入っていて、友達との活動が楽しくて中学でも野球を続けたいと思っていました。しかし、中学入学直後はほかの運動部に入

中学野球部の紅一点



引退試合では力強いプレーを見せてくれた三井さん。男子ともフラットに話をしていて、明るくさっぱりした性格も、野球部に花を添えていた。

男子に聞いた

三井さんはどんな選手ですか？

「マネージャーから選手になったときはびっくりしました」(A君)、「自分は選手になりそうな雰囲気を感じていました」(B君)、「能力高いし、努力家」(C君)、「何事にも真摯に取り組んでいて信頼できる人」(D君)、「ライバルです！」(E君)

——今日で野球部を引退ということですが、高校でも野球を続けられるのでしょうか？

三井さん 残念ながら高校では女子選手は公式戦に出られませんが、しかし、

部。ただ、やっぱり野球部に入りたいと野球部に転部。中1の秋まではマネージャーをしていたのですが、どうしても自分でもプレーがしたくて中1の冬から選手として男子と一緒に練習に励み、公式戦にもプレーヤーとしても出させていただきました。

——男子の中に女子が一人という環境でしたが、不安はありましたか？

三井さん いいえ、ありません。みんないい仲間です！ただ着替えの時や男子との体力差では、女子であることを自覚しましたが、それ以外は問題なかったです。私たちは本当に仲がよくて、帰りのスクールバスの中でのおしゃべりも楽しかったです。

中学野球部員のみなさん



引退試合後の記念写真(真ん中の列中央にいるのが三井さん)。部員は28名。引退試合は中3と中1・中2のチームで行われ、17対2と圧倒的強さで中3が勝利を収めた。

——部活動を通じて学んだことを教えてください。

三井さん 「地区大会優勝」というみんなで一つの目標に向かって協力し合えたこと。また、やりたいことをやることなど。挑戦したことで学べたことがたくさんあります。

また野球部に入り、プレーヤーとしての経験を生かして「ブロックもできる」マネージャーとして部員をサポートしたいと思っています。

——最後に受験生へのメッセージをお願いします。

三井さん 男女関係なくやりたいことがあればやれる、挑戦できるのがこの学校です。何かに挑戦したいと考えている人にはいい学校です。また、女子で野球をやりたいという方、大歓迎です！

——ありがとうございます！

ご両親に聞いた

野球部に入ると聞いて、どんなふうに思いましたか？

「小学生の時から地域のチームで男子と一緒に楽しそうにやっていたので大丈夫だと思っていました」(お母さん)、「野球部に入ったことにより娘とキャッチボールができて、家庭内で野球の話ができてうれしかったですね」(お父さん)

INFORMATION

■学校説明会 ※要予約
10月11日(土)
10:00~11:50、14:00~15:50
11月8日(土)
10:30~11:50、14:00~15:20

■入試対策説明会 ※要予約
11月29日(土)
10:00~11:50、14:00~15:50

■中学体育祭
10月23日(木)

※詳細は学校HPをご覧ください。

共学校

明星中学校

[学校HP] <https://www.meisei.ac.jp/hs/j/>

〒183-8531 東京都府中市栄町1-1 Tel.042-368-5201

最寄駅／JR武蔵野線「府中駅」徒歩15分。京王線「府中駅」、JR中央線・西武国分寺線 多摩湖線「国分寺駅」徒歩20分。「府中駅」「国分寺駅」から京王バス7分「明星学苑」。

学校完結型「オールインスクールの明星」

地域連携と学校完結型教育

本校は、「和の精神のもと、世界に貢献する人を育成する」という建学の精神に基づき、「自分の未来をデザインし共創していける人の育成」を教育目標に掲げています。この目標を実現するため、「地域連携による探究学習」「進学に特化した教育プログラム」「学校完結型の学習支援」を三つの柱とし、生徒一人ひとりの可能性を最大限に引き出す教育を推進しています。

「自分の未来をデザインする」には、主体的な観察力や問題発見力、発想力が不可欠です。本校ではこれらの能力を育む探究学習に重点を置き、



放課後を活用した学校内完結型の学習支援を実施

特に本校が所在する府中市との連携を積極的に進めています。二〇二二年に市と包括協定を締結し、年間一五・二〇の連携事業を通じて、地域社会そのものを学びのフィールドとしています。

その象徴的な活動が、府中市のフェアトレードタウン化を目指す取り組みです。二〇二三年度、高校一年生が大学教員の指導のもとフェアトレードを学び、自らフェアトレードカフェを企画・開催して地域にその意義を広めました。この活動は翌年度にさらに発展し、研修旅行でフェアトレードタウンの熊本市を訪問。現地の普及活動やマルシェに参加することで、身近なロールモデルから具体的なキャリア形成を学び、より実践的で深い学びにつなげています。こうした地域と連携した主体的な探究活動は、生徒たちに課題解決能力や論理的思考力を着実に育んでいます。

進学に特化した教育プログラム

多様な進路希望に応えるため、高校では進学に特化したプログラムを整備しています。二〇一六年度に難関大学を目指す「MGSクラス」、二〇二〇年度には最難関大学に対応する「SMGSクラス」を設置し、高い目標を持つ生徒を強力にバック

アップしています。

これらのクラスには各教科・科目のエキスパートである教員を配置し、質の高い授業を展開しております。また、模擬試験後には管理職、進路指導、学年担当者が連携して進路分析会・検討会を実施。生徒一人ひとりの学力を緻密に分析し、強みを伸ばし弱点を補強する個別最適化された指導に繋がっています。

本校が重視するのは、学習と進路指導を「校内で完結させる」ことです。教員が生徒と密に向き合い、学力を高めると同時に、客観的なデータに基づいて励まし、モチベーションを維持します。この手厚い支援体制が、生徒の「最後まで諦めない力」を育み、東京大学や一橋大学などの合格者を輩出するとともに、後期日程まで挑戦し、国公立大学の合格者数を大幅に増加させています。

中学校からの手厚い学習支援

高校での高度な学びの礎は、中学校での基礎学力です。そこで「オールインスクール明星」構想のもと、中学校の学習指導を強化しています。その中核が、二〇二四年度から導入した放課後学習支援プログラムです。これは手厚い個別支援で学力の土台を築き、上位層をさらに伸ばさせることを目的としています。

この導入は、保護者の約八割が希望するというアンケート結果に応え、外部の専門団体と連携して実現しました。現在、月曜から金曜の放課後、九名のチューターが教室で数学・英語を中心に個別サポートを行っています。

この取り組みの強みは、チューターと教員の緊密な連携にあります。専門団体職員が常駐し、個々の学習状況はリアルタイムで学年、教員に共有され、日々の授業改善に活かされます。生徒にとっては、部活動後に塾と同じような指導を校内で受けられ、帰宅時間が早まることで家庭での時間も充実します。保護者の経済的負担が軽減される点も大きなメリットです。この支援は既に学力面で成果を見せており、先行実施で得たノウハウは本校の財産となっています。

このように、中学校での基礎固めから高校での高度な指導まで一貫した教育システムを構築し、地域社会との関わりで実践力を、校内で完結する手厚いサポートで学力を伸ばす。この両輪が、生徒の未来を拓く力の育成と、学校全体の発展を支える原動力となっていると考えています。

INFORMATION

■中学校学校説明会

11月15日(土)

12月13日(土)

※両日ともに14時～

※要予約

※詳細は学校HPをご覧ください。



東星学園中学校

【学校HP】 <https://www.tosei.ed.jp/jhschool/>

〒204-0024 東京都清瀬市梅園3-14-47 Tel.042-493-3201

最寄駅／西武池袋線「秋津駅」徒歩10分。J R武蔵野線「新秋津駅」徒歩15分。



左からA.Y.さん、R.T.さん、科学部顧問の福士先生

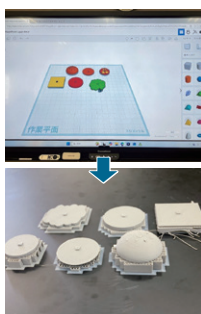
東星学園中学校・高等学校は、令和7年度の「DXハイスクール」採択校となり、3Dプリンターを導入しました。DXハイスクールは文部科学省がICTを活用した学びを強化する学校などに対して、必要な環境整備の経費を支援するもので、同校も理系教育の充実をはかる好機と捉え、申請しました。現在、3Dプリンターは科学部の活動で使用されているほか、夏休みに中学生の希望者を対象とした「STEAM LAB」という講座を2回開講し、3Dプリンターの使い方を学びました。今回は、科学部のA.Y.さん(高2。以下、Yさん)と、科学部で、夏休みの講座にも参加したR.T.さん(中2。

オブジェからトロンボーンまで忠実に再現する3Dプリンター

3Dプリンターを導入。科学部の活動や夏休みの講座で、ものづくりにチャレンジ！

以下、Tさん、科学部顧問の福士先生、中尾先生にお話を伺いました。3Dプリンターはパソコン上でデータを入力すると、それに基づいて3次元の立体的な造形物を出力する仕組みです。先生方もさまざまな試作品を作りましたが、中でもトロンボーンは音を出すこともできるくらい精度の高いものに仕上がりました。

Tさんは夏休みの講座にも参加し、科学部ではトラックを作りました。「最初に何となくタイヤを作ったのですが、これを車につけたら走ってしまうのでは?」と思いつき、軽トラ本体を作成しました(Tさん)。一方、科学部部長を務めるYさんは、3Dプリンターでアザラシとハンバーガーを作り、「海の生き



パソコン上で設計したデータを忠実に再現

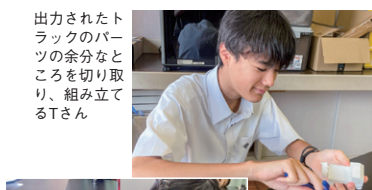


立体的な造形物を出力する3Dプリンター

物が好きなので、次はシャチャイルカも作ってみたいですね」と意欲的な様子で話してくれました。

トライ&エラーを繰り返して理想の形に近づく

DXハイスクール事業を担当する中尾先生は「3Dプリンターを使うようになることが生徒たちの興味、関心を広げるきっかけになれば。ものづくりをすることで小さい頃のようないろんな好奇心を呼び起こし、学びのモチベーションにもつながってほしいです」と話します。一方、福士先生は「今年は導入初年度ですから、生徒たちも初めて3Dプリンターを使ってみて、『ここをもっとこうしたい方がよくなるかも』と感じたところもあったはず。トライ&エラーを繰り返して理想に近づき、作品をよりよいものにしていく。こういった経験がどこかで役立つことがあると思います」と今後の展望を話してくれました。先生方の手厚い指導に定評がある同校。3Dプリンター導入により新たな学びの引き出しが増えて、生徒たちの成長にもつながりそうです。



アザラシにボスターカラーで色を塗るYさん



出力されたトラックのパーツの余分なところを切り取り、組み立てるTさん

INFORMATION

■公開授業期間 ※要予約
11月1日(土) 10:40~
11月4日(火)~6日(木)
14:50~
11月11日(火)~13日(木)
14:50~

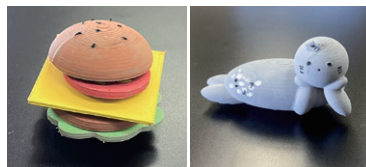
■体育祭 ※要予約
10月11日(土) 9:15~

■東星バザー ※要予約
10月26日(日) 10:00~

■クリスマス会 ※要予約
12月20日(土) 9:30~

■学校説明会 ※要予約
12月6日(土) 14:30~
※入試体験・解説会も実施

※詳細は学校HPでご確認ください。



完成した作品はこちら！

共学校

聖徳学園中学校

[学校HP] <https://jsh.shotoku.ed.jp/>

〒180-8601 東京都武蔵野市境南町2-11-8 Tel.0422-31-5121

最寄駅／JR中央線・西武多摩川線「武蔵境駅」徒歩3分。



現地校でマオリ族の民族舞踊「ハカ」を披露する聖徳学園の生徒たち。

ニュージーランド・ロトルア島(11日間)

ロトルア島はオークランドから車で5時間、さらに山の上のホームステイ先まで車で40分。僕の祖父母くらいの年齢のホストファミリーでしたが、夜中に「野生の動物が見えるから」と森に連れ出してくれたり、湖で釣りをしたり、広大な自然を満喫することができました。(H・Yさん)。



牧場見学ツアーで牧羊犬と触れあうK・Hさん。

ニュージーランド・クライストチャーチ(11日間)

午前中は現地の語学学校にスクールバスで通い、午後はアクティビティや買い物。帰りのトラックはお土産でいっぱいになりました。南極センターでマイナス8度を体感したり、雪上車に乗ったことも楽しかったです。僕たちの制服にはニュージーランド産ZQウールの生地が使われているのですが、その原材料となる羊の毛刈りも見学してきました(K・Hさん)。



ホームビジットでマレーシアの伝統的な遊びを教えてください。

シンガポール(6日間)

現地の大学生と交流した時間が一番楽しかったです。最初は緊張したけれど、単語の羅列やカタコト英語でも通じることがわかった。食事の際に「フォークをください」と自分から言えるようになりました。どんな緊張が溶けていくというか、最終的には声も大きくなって積極的に自分からアクションできるようになりました(C・Hさん)。



(写真左から中3のH・Yさん、K・Hさん、C・Hさん)

「GLOBAL×STEAM」を両輪とし、海外研修旅行でグローバルマインドを育む

「日本を知る」そして、「世界を知る」

「STEAM&GLOBAL」をキーワードに、予測不可能な時代に活躍するために必要な力を育む教育を行っている聖徳学園中学校。世界の人々と共生していくためには、ICT技術や英語力だけではなく、グローバルマインドの育成が必要不可欠です。

そのために同校では中1で新潟県にて民泊や田植え体験、中2の関西研修で日本の歴史や伝統を学ぶというグローバルマインドのベースとなる「日本を知る」ことから始めて、中3の海外研修へと繋げていきます。

海外研修旅行はグローバルマインド育成の集大成

そうしたグローバルマインド育成の集大成と位置付けているのが、中3の海外研修旅行(全員参加)です。ニュージーランド(11日間)とシンガポール(6日間)のどちらかを、生徒が選択しています。参加希望者が多かった今夏のニュージーランドは、南部のクライストチャーチと北部のロトルア島の2箇所に行き先を分散させました。

シンガポールでは、現地の大学生との観光ガイドツアー、学校交流、マレー系の家族との1日のホームビジットなど、交流をメインに。ニュー

ジランドでは1人1家庭のホームステイをしながら、クライストチャーチでは語学学校、ロトルア島では現地校に通い、午後はさまざまなアクティビティや交流を行いました。

海外研修に参加した生徒3人に共通していたのは、滞在中に「自信」が深まっていったこと。シンガポールを選んだC・Hさんは、現地の大学生とカタコトの英語でも意思疎通できることがわかり、英語で話すことが楽しくなりました。クライストチャーチ組のK・Hさんは、現地の語学学校にキックボードやローラースケートで登校してくる「生徒たちの自由度の高さ」が印象的だったそう。そんな二人が、「でもやっぱり

日本がいい」と口を揃えたのとは対照的に、「便利さでは日本が勝るかもしれないけれど、僕はもう永住したいと思うくらい気に入りました」と話したのは、ロトルア島に行ったH・Yさん。スポーツ文化が盛んな国柄も決め手になったようです。

異なる価値観に触れて国際社会で活躍する素養を育む

グローバル教育の原点は、自分と異なる価値観や考え方を認めることです。日本とは異なる生活様式や気候、食事、価値観に触れながら、それらに順応し、許容し、理解すること。同校では、10代の早い段階でその一つひとつのステップを経験することが、グローバルマインドを育む大切な要素だと考えています。

体験や実感を重視する中3の海外研修を経て、高2はマルタ島・台湾(全員参加/選択制)へ。段階的に国際的な視野を広げながら、グローバルに活躍するための素養を養っていくのです。

INFORMATION

- 学校説明会 ※要予約
10月4日(土)、11月8日(土) 各14:30~16:00
1月17日(土) 10:00~11:30
- プライマリー入試説明会 ※要予約
10月4日(土)、11月8日(土)
12月13日(土) 各16:00~16:45
- 適性検査型入試説明会 ※要予約
11月29日(土) 14:30~15:30
12月13日(土) 10:00~11:00
- 入試解説会 ※要予約
12月13日(土)、1月17日(土)
各14:30~16:00
- プログラミング入試説明会 ※要予約
12月20日(土) 14:30~15:30
1月17日(土) 16:00~17:00

※詳細は学校HPでご確認ください。

★女子校 晃華学園中学校

【学校HP】 <https://jhs.kokagakuen.ac.jp/>

〒182-8550 東京都調布市佐須町5-28-1 Tel.042-482-8952

最寄駅／京王線「つつじヶ丘駅」・京王線 相模原線「調布駅」からバス「晃華学園」。JR「三鷹駅」からバス「晃華学園meedo」ほか。スクールバス：京王線「国領駅」、JR「武蔵境駅」からあり。



大学教授による模擬授業。東京都市大学教授による「身体表現」をテーマにした授業では、表現行動を分析するアカデミックな視点と実践ワークを組み合わせ、生徒の知的好奇心を刺激した



順天堂大学教授による講義で、生徒はウェルビーイングの視点から健康を考えた。手話講座では、多様な人と支え合うコミュニケーションの大切さを体験



中学2年生全員で津田塾大学小平キャンパスを訪問。副学長から津田梅子の生涯とジェンダーギャップ、女子教育の意義について講義を受けた後、学生アンバサダーによる少人数ツアーで大学生活のリアルな様子を聞く

「学びの中身」で進路を選ぶ—— 高大連携による多彩な学問体験で視野を広げる

生徒の主体的な進路選択を支えるための高大連携

晃華学園は2024年度、新たに日本女子大学、津田塾大学、順天堂大学、東京都市大学と高大連携協定を結び、既存の東京外国語大学、上智大学と合わせて6大学との教育連携体制を整えました。

連携の狙いは、「大学の学び」に触れる機会を多く設定することで、生徒が自らの興味関心に合った進路を主体的に選べるようになること。

「推薦枠があるから」「行ける偏差値だから」進学するというような安易な選択ではなく、興味や適性から進学したい大学を真剣に選んでほしい」と、進路学習指導部長の林美幸先生は話します。

高大連携プログラムでは、中1から職業観の土台を築き、中2で大学生活を知る経験を積み、中3では幅広い学問領域を本格的に体験します。こうした段階的なプロセスを経ることで、生徒は大学名や偏差値に左右されず、学びの中身で進路を選べるようになります。

中1から段階的に「大学の学び」に触れる

入学後すぐに始まるのが職業学習です。家族や学校職員（用務員、スクールバス運転士など）へのインタビューを通して、身近なところにも社会を支える職業があることを知り、あらゆる職業が社会貢献につながるという視点を身につけます。また、順天堂大学国際教養学部と

連携し、「健康と共生社会」をテーマにした特別授業を実施。生徒は「健康＝病気がない状態」という固定観念を見直し、ウェルビーイングの視点から健康について考えました。後半は聴覚障がい者による手話講座も行い、多様な人と互いに支え合うことの意義を体験。晃華学園が全人教育の柱として掲げる「ノーブレス・オブリージュ」を実践的に学び、自らの学びを社会や他者のために生かす姿勢を育みました。

夏休みには、中3以上の生徒を対象に、連携大学を含め10大学以上の教員を招いて、大学模擬授業を開講しています。学部・学科・時間帯が重複しないように編成し、幅広く受講できるように設定。事前に開示された講義内容を元に、生徒が自由に

選択できる仕組みにより、生徒の主体性も育成されています。

「連携先はむやみに増やさず、大学担当者や密接に協力しながら講師選定や内容の調整を行い、質の高い講義プログラムを実現しています。付属校ではない強みを活かし、複数大学の多様な分野に横断的に触れられる環境も魅力です」（林先生）こうした丁寧な設計が、生徒の視野を広げることにもつながっています。

中3で芽生えた興味関心は、高校での探究活動や進路研究に直結します。理系志望者向けには、東京都市大学での「特別実験教室」（手術室見学や医療工学機器体験など）を予定。医学部以外の医療関連キャリアも可視化し、文理選択や受験校決定を後押しします。

晃華学園の高大連携は、単に進学実績を目的としたものではなく、「社会に出て人のために役立つ力」を育むためのプログラムです。中学から高校、そして大学へ。一人ひとりが自らの意思で未来を描くための道筋が、確かに用意されています。

INFORMATION

■入試説明会 ※要予約

10月11日(土) 14:15～
10月20日(月) 9:30～
12月6日(土) 14:15～

■オープンスクール ※要予約

11月22日(土) 14:00～

■入試日程

第1回:2月1日(日)AM(4科・約40名)
第2回:2月1日(日)PM(2科・約35名)
第3回:2月2日(月)AM(4科・約35名)

* 予約・詳細は、学校HP
<https://jhs.kokagakuen.ac.jp/>

★女子校 白梅学園清修中学校

【学校HP】 <https://seishu.shiraume.ac.jp>

〒187-8570 東京都小平市小川町1-830 Tel.042-346-5129

最寄駅／西武国分寺線「鷹の台駅」徒歩13分。JR武蔵野線「新小平駅」自転車10分。

JR中央線・西武国分寺線 多摩湖線「国分寺駅」から西武バス20分「白梅学園前」ほか。

白梅学園清修中学校・鉄道模型デザイン班 全国鉄道模型コンテスト、2部門で連覇

大会史上最多183校の頂点

見る者を引き込む世界観

かけがえのない財産

全国の中学生・高校生が挑む、鉄道模型の甲子園「第17回全国高等学校鉄道模型コンテスト」で、白梅学園清修中学校の鉄道模型デザイン班が、昨年に続いてモジュール部門と一畳レイアウト部門の両方で最優秀賞を獲得し、史上最多183校の頂点に輝きました。男子校や高専が大半を占める「鉄道模型の世界」で、女子校が頂点に、しかも2年連続で立つのは極めて異例の快挙です。出展した作品は、モジュール部門に昭和30年代の日光を舞台とした「愛され続ける日光軌道」、一畳レイアウト部門にはスタジオジブリ作品をモチーフとした「耳をすませば聞こえてくるかな」。今回はモジュール部門のメンバーたちに、連覇を成し遂げるまでの、この一年間を振り返ってもらいました。



「愛され続ける日光軌道」(左)
「耳をすませば聞こえてくるかな」(右)



実景と見間違えるような表現力

モジュール部門の作品は、昭和30年代の日光を舞台にした「愛され続ける日光軌道」です。「雄大な自然の中に廃線車両を組み込みながら、当時の佇まいを再現しました」と部長の吉本実冬さん。「紅葉は、標高差を意識して、20色以上を使い分けました」と岡村のどかさん。華厳の滝も実物さながらです。「水しぶきは綿を薄く広げて光を透かし、虹を浮かび上がらせました」と山田珠緒さん。さらに「服装は昭和30年代を再現し、年齢や職業など全員にプロフィールを設定しました」と副部長の青尾咲季さん。「作品の細部にまで物語を込めるのが清修の伝統です」と吉本さん。女子校ならではの自由な発想と豊かな色彩感覚、そして精緻な構成が織りなす世界観は、見る人を引き込みます。

未来へ伸びる清修のレール

制作は昨年9月から今年8月まで続きました。週末ごとに進捗を話し合い、状況をオンラインで共有、見える化。することで、それぞれが紅葉や滝などを分担しながら、全体像を確認し合いました。「やり切る」という使命感が部員全員を結束させていきます。顧問の中澤亜紀先生は「連覇だけではなく、思いやり、礼節、感謝の気持ちが育ちました。部活動は生徒を育てる大切なツールだと思います」と振り返りました。鉄道模型を通じて培った経験はかけがえのない財産となっています。

今回初めて挑戦したのがクラウドファンディングです。目標金額に対して2倍以上の支援が集まり、「目に見える応援」が生徒たちを力づけました。そして11月には、昨年に続きドイツでの世界大会が控えています。前回は惜しくも第2位、今年こそ世界一をめざします。また後輩へは、自分たちが得たノウハウを伝えるとともに、これまでにない新たな取り組みにも挑戦してほしいとのこと。鉄道模型を通じて白梅学園清修中学校の未来は、線路のようにこれからも伸び続けています。

INFORMATION

■第7回学校説明会
10月11日(土)
14:00～16:00

■清修フェスタ
10月25日(土)・26日(日)

■後期入試説明会
11月3日(月・祝)
10:00～12:00

■後期入試説明会・
第8回学校説明会
11月16日(日)
10:00～12:00

■2科4科/英語/
自己表現力入試体験会
12月6日(土) 8:30～12:00

■適性検査型入試体験会
12月7日(日) 8:30～12:00

■入試対策面談(6年生限定)
12月20日(土)・21日(日)

■特別個別相談
1月11日(日) 13:00～

■授業見学会 &
ミニ学校説明会③
1月17日(土) 10:00～12:45



左から、中澤先生、山田さん、岡村さん、青尾さん、吉本さん

★女子校 共立女子第二中学校

【学校HP】 <https://www.kyoritsu-wu.ac.jp/nichukou/>

〒193-8666 東京都八王子市元八王子町1-710 Tel.042-661-9952

最寄駅／スクールバス：J R中央線・京王高尾線「高尾駅」から15分（乗場までの徒歩を含む）、J R中央線 八高線 横浜線「八王子駅」から20分。「みなみ野・七国循環ルート」もあり。

生徒有志の広報チーム「2KRT」(にっくると)が制作した学校紹介リーフレット



「女子校に来ると、元気になる！」 生徒主体の学校生活で自立心や自己肯定感を育む

行事や生徒会など 生徒が主役の学校づくり

共立女子第二中学校は、自然豊かな環境の中、広々としたキャンパスでのびのびと勉強や部活動などに打ち込むことができる学校です。同校では主体的に物事を考えて行動を起こす「セルフリーダーシップ」という考え方を大切にしています。男女の役割分担がなく、すべての役割を女子だけで担う女子校のメリットを最大限に発揮し、生徒たちが主体となって学校行事や生徒会などを運営することで自立心や自己肯定感を養っています。「女子校に来ると元氣になりますよ」と入試広報部主任の戸口義也先生は話します。

同校では毎年6月に開催される体育祭の運営を昨年から実行委員会に



生徒の意見で体育祭の新種目となった高3の騎馬戦



活発に行われている生徒会活動



白垂祭(文化祭)の準備をする生徒たち

一任し、各クラス代表の実行委員が中心となって執り行いました。「体育祭では毎年恒例の種目に加えて、実行委員が生徒たちの意見をまとめて、従来なかった新種目も実施。例えば、今年の高3は初めて騎馬戦を行い、非常に盛り上がりました。同様に、白垂祭(文化祭)も実行委員が中心となって開催しています。本校はキャンパス内に生徒が合宿できる施設があり、夏休みには文化祭実行委員が合宿を行って、運営について話し合うなど準備を進めました」(戸口先生)

生徒会の活動が活発なことも同校の特徴です。「生徒会では、学校をよりよくしていくと積極的に改革を進めています。例えば、今年は生徒たちが購入しやすい場所に自動販売機の増設が実現しました。また、

校則を見直し、制服にスラックスを導入。期間限定で服装や髪型などの校則改定案を試行して自分たちでアンケートをとるなど、段階的に推進しています」と戸口先生も話してくれました。

有志の広報チーム「2KRT」が 学校の魅力を発信

同校には有志の生徒が参加する広報チーム「2KRT」(にっくると)があり、全学年合わせて約70人が学校説明会やオープンキャンパスなどで学校の魅力を発信しています。7月に開催されたオープンキャンパスでは、生徒たちが企画・編集したリーフレットを配布。来校した受験生には引換券と交換でガチャガチャに挑戦してもらい、その景品も企画しました。また、キャンパス案内は1家族に1人ずつの生徒が担当。広大なキャンパスを生徒が学校生活について説明しながら案内し、担当した受験生に生徒が手作りのポストカードを渡すなど、受験生親子にも好評でした。「酷暑や悪天候の時にスクールバスがあることの便利など、教員とは違った生徒ならではの目線で学校の魅力を紹介する様子も印象的でした。来場者アンケートでも、『共立女子第二は生徒中心のオープンキャンパスはなかった』と書いてく

ださった方もいました」(戸口先生)

同校は中高生時代に身につけたセルフリーダーシップを発揮し、多様な職業で活躍するOGを輩出しています。同校ホームページ内にある「OGファイル」ではさまざまな職種で活躍する卒業生が掲載されているので、ぜひアクセスしてみてください。

オープンキャンパスで小学生と交流する2KRTの生徒たち



キャンパス案内は1家族に1人ずつの生徒が担当

INFORMATION

■入試問題研究会+学校説明会 ※要予約
10月11日(土) 10:00~11:30
11月22日(土) 14:00~15:30

■入試説明会(小6対象) ※要予約
12月21日(日) 9:30~12:00
※国算2科型入試体験あり
1月7日(水) 10:00~11:30

■理科体験授業(小5以下対象) ※要予約
1月17日(土) 14:00~15:30
※入試相談会あり

※詳細は学校HP

高大連携 北の大地で「美」を探究

●湘南白百合学園中学校

高大連携協定を締結している東京農業大学との「オホーツク学」、今年は神奈川の男子校・逗子開成と女子校・カリタスも参加！学校を超えた仲間たちと大自然の中で体験を通して学びました。今年のテーマは「美」。オリジナル日焼け止めを作ったり、化粧品に使われる植物を知床トレッキングで探したり。生徒たちの視野が大きく広がります。



知床の大自然の中、学校を超えた仲間と学び合いました

■オープンスクール※要予約
(授業体験)
10月25日(土)9:45~11:30
小3~小6対象

夏のGlobal Program

●国学院大学久我山中学校

7月29日から女子クラスのGlobal Programが行われ、高校2年生は東京学国語大学に通った。グループに分かれて様々な国からの留学生をリーダーとし、ポジティブマインドとは、リーダーのあり方とはなど、様々なトピックについて英語で議論を交わした。プログラムを終えた頃には、日常会話でとっさに英語が出てしまうほどだった。



このプログラムで何をしたい？自分たちの目標は？

■中学校説明会
11月15日(土)12:30~13:30
web予約

五感を刺激する自然体験

●城西大学附属城西中学校

7月中旬に中学1年生が山梨県河口湖に2泊3日のサマースクールにきました。自然あふれる環境の中で収穫体験やテント宿泊などの多くの体験を行い、五感を刺激する都会ではできない経験をしてきました。

また飯盒炊飯では料理をすることの難しさを感じるだけでなく、いつも家族に作ってもらった食事の有難みを感じる貴重な機会となりました。



■第2回中学体験入学
11月23日(日)午前9:00~
午後13:50~
※要予約

栄養教諭による食育教室

●東京家政大学附属女子中学校

家政では、栄養教諭(管理栄養士)による食育教室を年2回実施しています。生徒は各学年のテーマ(和食文化、日本型食生活、栄養バランスなど)に沿って、ワークシートや箸を使ったゲームなどを通して、楽しく食について学びます。生徒たちは、学んだことを活かし、健康的な食生活への意識を高めています。



栄養バランスを良くするコツを学び、「選食力」を育みます

■第3回学校説明会
10月4日(土)14:00~
■緑苑祭(文化祭)
10月25日(土)・26日(日)
詳細・ご予約は本校WEBページ

ニュージーランド留学に向けて

●神田女学園中学校

中学3年生になるとニュージーランドへの短期留学に挑戦します。生徒たちは「現地では英語を使ってみよう！」という思いで学習に励み、実際に学んだ力を試します。帰国後には「また戻りたい！」「すごく楽しかった！」との声に加え、現地でもきた友達と交流を続けている生徒も多く、学びと友情の両面で成長できる大切な体験となっています。



昨年のニュージーランド短期留学

■授業見学会&教育内容説明会
11月15日(土)

いよいよ新渡戸祭！

●新渡戸文化中学校

夏休みも旅と探究が盛りだくさん！東京都では地元産の材木を使ったツリーハウス制作や生物の研究手法を学ぶ合宿を、広島では戦後80年の広島を感じつつ自身の活動を発表するイベントに、地元高円寺では阿波踊り祭りを支えるボランティアの存在を伝える写真展などなど...これらの成果は、10月開催の新渡戸祭でお伝えしますのでぜひお越しください！



生物実習合宿では森林や川の動植物を観察しました

■新渡戸祭(文化祭)
10月11日(土)・12日(日)
10:00~15:00
詳しくは本校HPをご覧ください。

探究DAYを実施しました

●芝浦工業大学附属中学校

中学1年から高校2年までの全学年が参加した「探究DAY」。中学生はIT(Information Technology)とGC(Global Communication)に分かれて探究し、調査結果を発表。高校生は社会の課題に目を向け、ニーズを調査、プロトタイプを制作し、実践的な学びを深めました。IT・GCの学びを駆使してグループで長期プロジェクトに挑みます。理工系の知識で社会課題を解決します。



暑さ厳しい中にも関わらず、大勢の方にご来場いただきました

■芝浦生による秋の中学施設見学会
11月16日(日)10:00~15:30
※詳細は学校HP

創立110周年 記念行事

●藤嶺学園藤沢中学校

今年で創立110年を迎えた本校は、5月9日に110周年記念行事を行いました。全校生徒が藤沢市市民会館に一堂に会し、和太鼓奏者のTAKERUさん、神奈川大学サッカー部監督の大森さん、シテ方金春流能楽師の山井さんより演奏や講演をしていただきました。卒業生3名による多彩なプログラムは、在校生にとって大きな刺激となり、自らの将来を考える貴重な機会となりました。



TAKERUさんと今年発足の和太鼓同好会との共演

■秋のオープンスクール
(小4以上対象)
茶道・剣道体験
10月11日(土)9:30~

125周年記念フェスタを実施

●横浜雙葉中学校

学校の創立125周年を記念し、「125周年記念フェスタ」を実施いたしました。当日は、各学年が125周年にちなんだ出し物を披露し、本校の歩んできた125年の歴史を振り返るとともに、これからの未来について考える機会となりました。今後も本校の伝統を大切にしながら、更なる発展を目指してまいります。



125周年記念フェスタのひとコマ

■雙葉祭(文化祭)
10月18日(土)・19日(日)
受験生と付き添いの保護者の方は、予約不要

海外提携校との国際交流！

●麗澤中学校

7月にオーストラリア、ブラジル、モンゴルの各提携校との交流プログラムを実施しました。キャンパスツアーを行ったり、書道や英語などの授業を一緒に受けたり、互いの文化を紹介したり、伝統楽器の演奏を聴かせてもらったり。生徒たちは、異文化に触れ、異なる価値観や考え方を学ぶとともに、日本や自己への理解を深める機会となりました。



ブラジルのアルモニア学園との交流の様子

■入試説明会
11月16日(日)10:00～11:30
HPから要予約

中1 林間学校

●目白研中学校

7月21日～7月23日、河口湖林間学校が実施されました。1日目は、クラスメイトと協力するアクティビティを行いました。2日目のハイキングは最後に豪雨に見舞われゴールできなかった班もありましたが仲間と協力する姿を見ることができました。帰りのバスでは、皆で校歌を熱唱する姿が見られ、この二泊三日で深まった絆の強さに感動しました。



雄大な自然の中での1コマ

■放課後見学会
11月13日(木)16:00～
※要予約

「人を思う」を身につける「武道」

●国士館中学校

本学園創設以来、取り組む「武道教育」。「礼に始まり、礼に終わる」という人として大切な心のあり方を身につけます。相手と向き合い呼吸を合わせて「礼」をすることは、無心になって相手を想うことです。



武道「剣道」-授業風景「礼法」

■第1回入試説明会・
過去問題解説会
(解説会のみ小6対象)
10月18日(土)14:00～

みんなで考え、みんなで動く

●相洋中学校

夏休みが始まってすぐ、中学2年生は「協力」をテーマとするデイスカバリーキャンプ研究を行います。メインとなる活動では、難しいお題にグループで協力して挑みます。最初は「無理だ」という声も上がりましたが、文字通り全員が考え、行動して乗り越えていきました。普段の学校生活では引っ込みがちな生徒も、皆のために率先して動いていた姿が印象的でした。



板が地面につかないように、左右の人を入れ替えてみよう！

■第1回入試説明会
11月3日(月祝)10:00
面接ワンポイントアドバイス・
面接体験、保護者が語る相洋

中学1年林間学校を実施しました

●足立学園中学校

7/29～7/31の3日間、長野県での校外学習を実施しました。大自然に囲まれた環境の中で、オリエンタリングや農業・酪農体験、飯盒炊さんなど、さまざまなプログラムに取り組みしました。普段の生活では得られない貴重な体験を積むことができ、班活動を通じて互いに助け合う心が育まれ、仲間との絆をより一層深めることができました。



班のみんなで協力して農業体験に取り組んでいる生徒達

■学校説明会
11月1日(土)14:00～
※要予約

エストニア文化研修を初開催

●東京女学館中学校

今夏11日間の日程で、国際学級の中2・3生の18名を初めてエストニアに派遣しました。IT・教育分野におけるヨーロッパ最先進国で、様々なワークショップを通してアントレプレナーシップを体験的に学びました。また現地の学生や起業家たちと交流したり、古城でのオペラ鑑賞など文化に触れる機会もあり、たいへん充実した研修となりました。



タリン工科大学サーレマー校を訪問して女性の学長と対談

■創立137周年記念祭(学園祭)
11月8日(土)・9日(日)
※要予約

放課後も長期休暇中もL&S！

●加藤学園暁秀中学校

暁秀では2025年4月に放課後学習支援システム『L&S(Learning and Support)』を開講しました。L&Sは、放課後だけでなく夏休みなどの長期休暇中も利用ができるのです。長期休暇中は朝から夕方まで開講しておりますので、学校で学習したい生徒や部活動の前後に利用する生徒が数多く見られました。



L&Sイメージ

■オープンスクール
(予約不要 本校会場)
11月8日(土)9:00～12:00

身に付けた英語を現地で使う

●共栄学園中学校

共栄学園では夏期に、イギリスやカナダへの海外研修を実施しています。約2週間、中2～高3を対象として行われる語学研修は、座学で学んできた英語をツールとして活用する貴重な機会となります。中2はK-sep(共栄サマーイングリッシュプログラム)を終えた直後で、英語へのモチベーションが上がっている時期での実施となります。



ホームステイと研修、現地の観光を行います。

■第6回中学校説明会
10月12日(日)Web申込有り
(<https://mirai-compass.net/ur/tkyoeigi/event/evtIndex.jsf>)

中1 野尻湖林間学校

●サレジオ学院中学校

クラスごとに順番に実施する3泊4日の林間学校ですが、2週間にわたる全4クラスの滞在期間中ずっと快晴が続きました。おかげでカッターボートや水遊び、バーベキューなど、すべてのアクティビティを予定通り満喫することができ、大自然の中で友だちや先生たちとのきずなを深められました。この先もずっと忘れない夏の思い出となりました。



オーエス! オーエス! 力を合わせて野尻湖を一周します。

■中学入試説明会(小6限定)
11月1日(土)14:00～
(要Web予約)

戦後80年の夏に「丸木美術館」へ

●共立女子第二中学校

広島原爆を題材とした「あの夏の絵」の芸術鑑賞会(6月)に続き、「原爆の図 丸木美術館」の校外学習を夏休みに行いました。画家の故・丸木位里・俊夫妻が実際に目の当たりにした光景をもとに生涯をかけて描いた全十五部からなる「原爆の図」が常設展示されている美術館です。生徒たちは約2時間かけて、一枚一枚の絵とじっくり向き合いました。



中1～高2までの希望者が「原爆の図」の展示に見入った

■学校説明会 & 入試問題研究会
(国算2科型・適性検査型)
11月22日(土)14:00～
※要予約

GLS2025にて優秀賞受賞!

●成田高等学校附属中学校

7月にシンガポールで行われたGlobal Link Singapore 2025に、本校生徒がプロサッカーチームと地方自治体との連携についてSocial science分野にて研究発表し、データサイエンス部門で優秀賞を受賞しました。

また、この機会に世界の高校生との交流によって新たな課題が見つかったことが探究学習の本来の目的としての大きな成果といえます。



帰国して空港から直接登校し報告してくれました。

■授業・施設等自由見学
10月25日(土)9:50～
■学校説明会
10月25日(土)10:25～
※上履きをご持参ください

異文化体験×未来思考 早稲田佐賀

●早稲田佐賀中学校

今夏は、アメリカ研修(ハーバードやMIT等での研修)、オーストラリア研修(ホームステイ・現地校授業)、シンガポール・マレーシア研修(最先端技術研究)の3つの希望制海外研修旅行を実施。世界最先端の知や技術、異文化に触れることで、生徒達はグローバルな視点を獲得し、価値観を広げ、探究心を深めました。早稲田佐賀で、世界基準の学びを。



今夏は早稲田佐賀の約4人に1人が海外を経験しました。

■入試説明会
10月25日(土)10:00～
早稲田大学 ※要HP予約

今年の文化祭テーマは「Re:Prologue」

●聖セシリア女子中学校

100周年へ向け、また、プロログから始めようという意味を決めて文化祭執行部がテーマを決めました。3つの大文字は“RPG(ロールプレイングゲーム)”のように、仲間とともに楽しみながら同じゴールを目指していこうという意味も込められています。また、生徒から公募で集められたデザインからポスターとマスコットキャラクターも決まりました!



少人数制だからこそ、やりたいことが実現できます!

■聖セシリア祭
10月18日(土)・19日(日)
<予約制>

オーストラリア語学研修を実施

●日本大学藤沢中学校

7月下旬から約2週間オーストラリア語学研修を行いました。約40名が参加し、ブリスベンにある姉妹校にて英語だけでなく、現地の様々な文化に触れることができました。ホストファミリーにも温かく迎えられ、最後は涙でお別れとなりました。シドニーでは市内観光と班別自主行動を行い、英語を実際の場面で積極的に使う良い機会となりました。



シドニーのオペラハウスを背に記念写真を撮りました。

■学校説明会
11月1日(土)14:30
※要予約

IELTS強化週間!

●東京成徳大学中学校

進路指導部主催「IELTS強化週間」が7月に開催されました。

昨年3月にプレ開催が好評。今年度から本校ネイティブ教員のサポートのもと、各学期の期末試験翌週に、海外進学や短期留学はもちろん、英語力を向上させる機会として本格導入されました。7月期は進路決定を目前に控えた6年生が積極的に受講し有意義なレッスンとなっていました。



終了時刻を過ぎても各グループ白熱しています

■学校説明会・DL説明会 & 体験会(要予約)
10月26日(日)
詳細は学校HPへ

高校生がワークキャンプに参加

●玉川聖学院中等部

今夏も希望者を対象に様々な宿泊行事を行いました。8月初旬には高校生15名が群馬県榛名にある高齢者施設でのワークキャンプに参加。利用者との交流はもちろん、施設の清掃や夏祭りの準備などにも取り組みました。そこで得た発見を参加者同士で分かち合いながら、命の尊さやともに生きることの意味について深く考えることのできた4日間でした。



夏祭りの飾りつけや余興などを担当しました

■学校説明会
11月7日(金) 10:00～

第2回7/13(日)VERITAS祭り

●光英VERITAS中学校

7/13(日)「夏のVERITAS祭」を開催しました。当日は梅雨明けが待たれるとても暑い日でしたが、多くの参加者にご来校いただきました。ウェルカムセレモニー後は、体験授業や部活動・施設見学、教育内容説明、カフェテリア体験、個別相談などから自由に選択していただきました。来年もさらにパワーアップした企画で開催します。



■学校説明会
10月1日(水)
■入試説明会
10月18日(土)

夏休み中の海外語学研修

●アレセア湘南中学校

この夏もオーストラリア語学研修、英国語学研修が行われました。共にホームステイをさせて頂き、語学のみならず文化や習慣を感じる約2週間のプログラムです。オーストラリア語学研修は、中学2年生から参加が可能。11月には現地毎日通学し、ともに学んだカリンヤクリスチャンスクールの高校生が本校に来校する予定で、長年続く交流です。



ホームステイ先の生徒と同じクラスで授業を受けます

■第4回学校説明会・入試体験
11月8日(土)(要予約)
■入試説明会
12月13日(土)(要予約)

豊島岡生による体験会

●豊島岡女子学園中学校

7月に開催された「豊島岡生による体験会」では、有志のクラブや委員会による演技・演奏の発表に加え、活動体験や、教員と生徒が協力して行う特別授業などが実施されました。学習だけでなく、さまざまな活動にも情熱を注ぐ生徒たちの生き生きとした姿を通じて、豊島岡での日々の充実ぶりを感じていただける機会となったことと思います。



マンドリン部の楽器体験で生徒が来場者に直接教える様子

■桃李祭
11月1日(土)・2日(日)

ジンバブエ大使の来校と歓迎会

●函嶺百合学園中学校

6月20日(金)ジンバブエ大使館の方々が来校され、歓迎会や箱根美術館に赴き茶道のお点前でおもてなしをしました。本校では小学校卒業と共に使わなくなった鍵盤ハーモニカを中学生から集めて寄付するという活動を行ってきました。こうした活動が評価され、大使より感謝状とTシャツやキャップなどの記念品が贈呈されました。



箱根美術館にて茶道のお点前でおもてなしをしました。

■入試説明会(要事前予約)
11月15日(土) 10:00～12:00
※受付時間 9:30～10:00
会場:湯本富士屋ホテル

挑戦することでしか見えない景色がある

●東福岡自彊館中学校

開校から27年目を迎える東福岡自強館中学校は令和7年度入学生より共学化しました。「地域に、社会に、世界に、開かれた学校」として、「人とつながり、世界とつながり、未来とつながる人」を育成していきます。様々な「体験」を通して生徒たちが未来の自分について考え、自分らしく社会で活躍するための準備期間を私達と一緒に歩んでいきましょう。



■第3回学校説明会
10月25日(土)

新しい時代のヒガシがここから始まります。

東洋大学の留学生たちとの“Let's Chat in English!”

●東洋大学京北中学校

東洋大学の留学生たちと英会話を楽しむ“Let's Chat in English!”は、中高大連携の国際教育プログラムです。20才前後のお兄さんやお姉さんたちと、趣味や音楽などの身近な話題で盛り上がります。もちろん本校にもネイティブ先生による英会話の授業はありますが、授業とはまた違う雰囲気なので、気楽に英語が飛び出していきます。本校には、英語を活用する機会がたくさんあります。



気楽に英会話を楽しむことがマスターの秘訣!

■学校説明会
11月8(土) 14:30～16:00
(HPより予約をお願いします)

夏祭りが行われました!

●桐蔭学園中等教育学校

夏休み前最後の登校日に、毎年恒例、生徒会が主催の「夏祭り」が行われました。中庭に焼きそばやかき氷のお店が出て、生徒会のメンバーが調理や売り子を担当しました。他にもヨーヨーすくいや射的などのお店も出て、夏祭りモード全開でした。翌日からは待ちに待った夏休み!生徒たちの笑顔がはじけた1日でした。



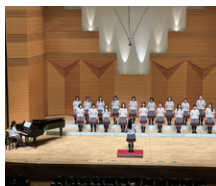
真夏の日差しを受けて夏祭りモード全開でした

■学校説明会
11月1日(土) 14:30～
※4～6年生対象・要予約

美しい歌声がホールいっぱいに響きました！

●北鎌倉女子学園中学校

9/2(火)、鎌倉芸術館にて中学・高校合同で合唱コンクールを開催しました。夏休み中もクラス毎に計画を立て練習を重ねました。本番当日は、それぞれのクラスの思いがハーモニーとなってホールいっぱいに響き渡りました。先輩たちの歌声を聞いた中学生は目を輝かせて感動。その憧れを抱いて来年も美しいハーモニーを聴かせてくれることでしょう。



鎌倉芸術館のステージにて

■文化祭学校説明会
10月18日(土) 9:00～10:00
10月19日(日) 12:30～13:30
※HPから要予約

英国イートン校への語学研修旅行

●岡山中学校

英国の名門パブリックスクール・イートン校の学校・寮生活を体験する行事です。夏休みに高1生31名が、イートン校の卒業生を中心とする若いチューター達と寝食を共にしました。英国文化の学習やスポーツなどのアクティビティ体験、大英博物館などの観光を通して、英語を話す楽しさを味わわせ、将来につながる内なる志を育てていきます。



580年以上の歴史を誇る校舎の前での記念写真

■中学入試説明会
11月8日(土)10:00～
※要予約

今日は君が研究者だ！自由研究教室2025

●工学院大学附属中学校

小学生対象の「自由研究教室2025」を7月に実施しました。理科・数学・英語・アートなど、工学院大学の研究室による専門的な内容を含む全28講座に参加した子どもたちは、自由研究のヒントとなる体験に目を輝かせていました。

当日は生徒デザインのTシャツを着た中学生が会場運営をサポート。「ちょっと特別な学び」にふれる夏の1日となりました。



自動車部のソーラーカーを紹介。運転席体験も。

■中学校説明会・体験学習/部活動体験 ※要予約
10月18日(土)14:00～

中学卓球部関東大会(団体)出場

●桐朋中学校

7月22日から24日にかけて行われた東京都選手権大会団体戦において6位となり、8月8日から10日にかけて埼玉県所沢市で行われた関東中学卓球大会への出場を果たしました。第1ステージを1位で突破したものの、第2ステージで敗退し、残念ながら7年ぶりの全国大会出場を逃してしまいました。彼らの今後の熱い戦いに期待しています。



関東大会出場を決めたときの中学卓球部員達

■第6回中学校説明会
11月22日(土)14:00～
11月8日(土)9:00より本校HP上で予約受付開始

中1から参加できる英国語学研修

●川村中学校

毎年7月中旬から、中高希望者による英国語学研修が実施されます。自然豊かなコッツウォルズ地方で、一人一家のホームステイ生活を送ります。英語の授業だけでなく、ドラマやダンスレッスン、地元学生とのスポーツ交流、ロンドンやオックスフォードなどへの観光にも出かけ、英国の歴史や文化にも触れる機会となります。



■学校説明会・個別相談会
10月18日(土)14:00～
※要予約

鉄道研究部の鉄道模型コンテスト2025

●東京電機大学中学校

8月に行われた鉄道模型コンテスト2025に、モジュール部門、HO車両部門、1畳レイアウト部門すべてに出展しました。1畳レイアウト部門の作品は審査員特別賞、HO車両部門の作品は奨励賞を頂きました。毎年工夫を凝らして制作し、今年もなかなか雰囲気がある作品を出品しました。次は9月の文化祭に向けて計画を練っています。



一畳レイアウト部門
審査員特別賞！

■学校説明会
10月25日(土)14:00～15:30

サマーキャンプでカレー作り！

●日本工業大学駒場中学校

中学1年生は7月の下旬に新潟県妙高市赤倉にて、2泊3日のサマーキャンプを行いました。初日はかまどを自分たちで組み立て、それを使ってカレー作りを楽しみました。2日目には授業で学んだ地層の見学や、海岸での鉱物探検をフィールドワークを通して行いました。生徒たちは目標を達成する力や、物事を観察する目を養っていました！



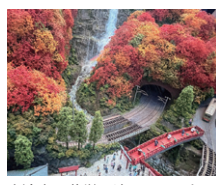
美味しいカレーができました☆

■学校説明会
「入試学習アドバイス」
11月22日(土)14:30から
本校HPよりご予約下さい。

鉄道模型の甲子園で2部門2連覇達成

●白梅学園清修中学校

歴代、挑戦したことのない「秋」をテーマ設定とし、東武日光軌道線が存在した昭和30年代の日光をモチーフに出展。昨年度、最優秀賞を受賞した先輩に続き、2連覇を達成した。1畳レイアウト部門でも最優秀賞を受賞し、2部門で2連覇を達成した。モジュール部門を制作した生徒は、ドイツで行われる世界大会に日本代表として参加することが決定している。



大迫力の華厳の滝にかかる虹は来場者を驚かせた

■第7回学校説明会
10月11日(土)14:00～16:00
■清修フェスタ(文化祭)
10月25日(土)・26日(日)

中学2年生「夏は勉強合宿！」

●日本大学第二中学校

本校では「自学自習を通じ、主体的に学習に取り組む習慣」を確立することを目標とする勉強合宿が行われます。各自学習の目標を立て、自分の立てた計画にそって自学自習をします。又、今年度は班ごとに「ロボッチャ」というプログラミングでロボットを動かして相手と対戦する学びも行い、男女共に夢中になって協力し合って取り組みました。



班員全員で熱心に協力しながら作戦を練っていました。

■銀杏祭(文化祭)
11月8日(土)・9日(日)
※予約不要

学外との連携も大切にしています

●三輪田学園中学校

三輪田学園は、教室の外でおこなう実践的な学びも大切にしています。英語の授業では、主にHonorsクラスの生徒を対象に、大使館ツアーや、高大連携協定を結んでいる法政大学の留学生との交流会など、教室で学んだ英語を実際に使う機会を設けています。中1が探究入門としておこなう地域研究では、近隣の商店や企業にも協力を仰いでいます。



大使館で、メキシコの文化について積極的に質問をする生徒

■第1回入試説明会【要予約】
10月18日(土) 10:00～11:30
※5・6年生対象

6年間で6登山！一切経登山！

●福島成蹊中学校

校舎から毎日眺めることができる吾妻連峰。その中でも一際目を引く「吾妻小富士」のやや北側に位置する一切経山にアタックしてきました。中学3年生から高校3学年のおよそ60名で頂上を目指します。天気は良好！夏の青々とした空の下、そして輝く白雲の上を一步一步、励ましあいながら見事全員で登頂することができました！



福島の「自然豊かな環境」も学びのステージです！

■【東京会場入試】
オンライン説明会
10月11日(土)～
毎週土曜開催



生徒が創るー未来の英語学習

●横浜創英中学校

横浜創英では、AI英語学習システムの共同開発を企業とスタートしました。生徒約50名が開発パートナーとして参画し、開発者と直接対話して「もっとこうしたい」「ここが使いにくい」といった生の声を開発に反映させました。生徒たちの創造的な視点が未来の英語学習をどう進化させるか、ご注目ください。



プロトタイプを試しながらアイデアを出し合う生徒たち

■第5回中学校学習会
10月18日(土)
※要予約

夏期講習で学力アップ！！

●埼玉栄中学校

7月末と8月末に、全学年の受講希望の生徒を対象に夏期講習を実施しました。夏期講習では、各種検定の受験級や基礎と応用など、個々の学習目標に対応できる講座を開講しました。生徒たちは、自分の学力や伸ばしたい分野に合わせた講座を受講して、積極的に講習に取り組むことができました。



真剣に問題に取り組んでいます

■入試問題分析会
11月24日(月・振休)
①9:00～ ②11:30～
※6年生対象 予約制

地元科学館のイベントで活躍

●茗溪学園中学校

科学部化学班がつくばエキスポセンター主催の「地元中高生によるEXPOサイエンスDAY」に参加。4年目となる今年は、不思議な水を吹きかけると絵が浮かび上がる科学マジックショーと水性ペンと水をつかったアート体験の科学教室を催しました。来場者の子供たちからは驚きの声が上がると、イベントは盛況で、日頃の活動の成果を大いに発揮しました。



科学教室で来場者に説明をする化学班の生徒

■茗溪学園 & 啓明学園
アメリカ西海岸合同説明会
10月12日(日)
対面 & オンライン(要予約)

躍進する芝学園将棋部

●芝中学校

芝学園将棋部には約50名の部員が在籍し、全国大会出場を目指して日々活動に励んでいます。学年を越えて部員同士の仲が良く、共に成長し合うなかで、好成績を収めています。
・全国高等学校将棋選手権大会東京地区予選個人 第3位
・文部科学大臣杯中学将棋団体戦東日本大会 第3位
・関東中学将棋個人戦A級 優勝・準優勝



今年の夏合宿(河口湖畔)での対局中の様子

■第3回学校説明会
10月24日(金) 11:00～
※要予約

富士見丘の英語4技能教育の成果

●富士見丘中学校

「週末エッセイライティング」や「オンライン英会話」など、多彩な取り組みが特徴の富士見丘の英語教育。24年度中3生は75%が英検準2級を取得しています。築いた英語力は大学入試でも武器となり、『週刊ダイヤモンド』のレバレッジ度ランキングでは首都圏1位を獲得。今月の説明会では生徒が質問にお答えします。ご来校をお待ちしております。



ネイティブ教員は9名在籍。抜群の英語学習環境です。

■学校説明会 & オープンスクール
10月18日(土) 9:30～11:00
本校HPより要予約
(10/15(水)まで)

誰もが部活動と勉強ができる！

●桐光学園中学校

本校には年間600講座を超える講習制度があります。平日・土曜の放課後、夏期。夏期講習は中学生がサマースクール(3泊4日、中1長野・中2京都奈良、そして大阪万博！・中3広島)後に受講。科目は英数国、希望制ですが、ほとんど全員が受講！

高校生には科目毎に大学別対策講座を設定。講習は自ずと勉強と部活動の両立ができるシステムです。



学内で勉強と部活動の両立ができる講習制度は600講座！

■中学校説明会
11月9日(日)
WEB予約は10月25日(土)～

海外サマースクールでアメリカデンバーへ

●中村中学校

8月、中学2・3年生を対象としたアメリカデンバーへの海外サマースクールを実施。午前は現地校で授業に参加し、午後は州議会議事堂や博物館訪問、ボランティア活動など、日替わりのアクティビティを実施しました。文字通り「百聞は一見にしかず」。とにかく慌ただしい11日間でしたが、アメリカ文化を五感で感じることができた研修となりました。



今年は運良くドジャース戦を観戦

■清澄祭(文化祭)
10月25日(土)・26日(日)
9:00～15:30

生徒広報部が大活躍！

●和洋国府台女子中学校

本校には、和洋の魅力を発信する有志団体「生徒広報部」があります。毎週土曜日に話し合いを重ね、学校説明会では司会や学校紹介を務めています。夏のオープンスクールでは高校1年生と中学1年生の広報部員が中心となり、座談会形式で学校生活についてお伝えしました。今後の学校説明会に向けても準備を重ねていますので、ぜひお越しください。



学年を超えて、和洋の魅力を伝える活動をしています。

■学校説明会
10月25日(土)14:00～

逆算教育で「夢」を育む学校です

●郁文館中学校

夢を見つけ叶えるための4つのカギで「生徒の夢実現」を徹底サポート！

- 1.好き得意から夢を見つける“夢教育”
- 2.夢からの逆算“10000時間”
- 3.“SDGs教育日本一”の取り組み
- 4.個別最適化で挑戦“学力プレミア”

詳しくは説明会にて！



バングラデシュ研修で現地の学生に英語でインタビューをする様子

■学校説明会 ※要予約
10月:11日・29日
11月:1日・8日・15日・26日
詳細は学校HPをご覧ください

中学校体験学習『Challenge & Communication』

●西武台千葉中学校

中学1年生(右写真)はキッザニアに行きました。約半数のアクティビティが英会話で行われているイングリッシュ・ウェンズデーを体験してきました。中学2年生は早稲田の奉仕園で大学生とディスカッションを行い、早稲田大学を見学してきました。中学3年生は関東近郊の大学で学んでいる留学生と一緒に浅草を散策して、英語で説明をしてきました。



ビューティースタジオで香りの効果を学び、フレグランスを調香しています。

■学校説明会(要予約)
10月18日(土)14:00～16:30
11月1日(土)14:00～16:30

6学年で競い合う運動会！

●鷗友学園女子中学校

毎年10月頃にある運動会、鷗友学園では中学1年から高校3年までの6学年が学年対抗で競います。各学年で学年色が決まっており、その色のはちまきを身につけて戦います。また、運動会の運営は生徒が主体となって行っています。全員が安全で楽しく参加できるよう、係の生徒たちは4月から一生懸命準備しています。鷗友の名物行事の一つです。



学年色を身にまとい応援します！

■学校説明会 ※要予約
10月18日(土)
6年生 9:00～
全学年 10:40～

私はどんな「リーダー」？

●聖園女学院中学校

清泉女子大学地球市民学部 安斎徹教授をお迎えし、リーダーシップ研修を行いました。生徒会総務局や部活動などで活躍する中3～高2生が、多彩なリーダー像や女性のキャリアを考察しました。有名アニメ作品から女性リーダー像の変化を学ぶ場面も。悩みや理想像を語り合い「私らしい方法でみんなを支えていくことができるのだ」と勇気づけられた生徒も多くいました。



合意形成と情報伝達を学びながら、リーダーシップを学ぶ機会です。

■第3回学校説明会
(要Web予約・学年不問)
11月22日(土)9:30～11:30
過去問勉強会(6年生対象)

未来を感じ、文化を知る

●自修館中等教育学校

3年生の関西フィールドワークでは、大阪関西万博を訪れました。様々なバビリオンの見学や郷土料理を通して、地域の人々や文化に触れ、異文化についての理解を深めました。事後学習では、「未来は技術の進歩で便利になる一方、人とのつながりを大切にすることも重要だ」と感じる声もあり、これからの社会で役立つ価値観を育む一歩になったと感じています。



■第2回学校説明会
10月25日(土)
※愛甲・平塚スクールバスを運行します

海外研修×探究

●田園調布学園中等部

海外研修プログラムは、英語を用いた「課題解決能力」を育む絶好のチャンスです。高等部1年生(希望者)はバリ島で探究学習を行います。リゾート地バリ島が抱える課題について学び、その解決に向けたアクションプランを練り上げる4泊5日間です。周囲の支援を受けながら、生徒たちはプランを具体的に実現するため、全力で取り組みました。



バリ島が抱えている社会課題についてレクチャーを受けました。
■学校説明会・生徒によるキャンパスツアー
11月8日(土)詳細は本校ホームページに公開いたします。

中等部オープンスクール

●東海大学付属浦安高等学校中等部

8月24日(日)と9月20日(土)の2回に渡り、オープンスクールを開催しました。小学校4～6年生を対象に推薦入試の「入試のヒント」や「模擬試験」(6年生のみ)、部活動やいろいろな教科を体験していただきました。本校生徒もボランティアで参加し、小学生のみなさんに本校の様子を隅々まで知っていただく機会となりました。



野球部の体験プログラムの様子
■建学祭(文化祭)
10月25日(土)・26日(日)
9:00～
※詳細は学校HPでご確認ください

セブ島スタディーツアーで広がる学び

●八千代松陰中学校

夏休みを利用しておこなわれるスタディーツアー。フィリピン・セブ島のツアーでは、午前中は現地講師とのグループレッスン・マンツーマンレッスンで英語力を鍛えます。午後は現地の中学生とも交流、加えてボランティア活動に取り組む中で、ゴミ山に暮らす子どもたちとの出会いもありました。国境を越え、心の交流が生まれました。



■第5回学校説明会
10月18日(土)9:00～
推薦入試のヒント
オンライン開催 ※要予約

真夏の夜の実話怪談会 魂 laナイト

●大妻多摩中学校

8月4日(月)夕方5時から実話怪談会を開催しました。毎年お盆前の仏滅の日を選んでこの企画は行われています。今年は実話怪談師神沼三平太さんに来校頂きました。生徒は希望すれば浴衣を着て参加することも可能です。舞台演出は生徒達が希望して、自分たちで趣向を凝らした様々な恐怖を演出する小道具を作成し、雰囲気盛り上げていました。



■入試説明会(2科・4科)
10月18日(土)15:00～16:00

日本を知り、世界に飛び込もう

●瀧野川女子学園中学校

日本人が大切にしてきた営みと、国際社会で生きる原体験を全身で学ぶ校外学習に出かけます。10月、中学2年生は奄美大島で6つの挑戦が待つ冒険の旅へ、高校2年生は「ハワイ修学旅行」で、事業化実習の一環のチャリティーバザーを主催。オリジナル商品を販売した売り上げは現地の教育基金に寄付し、国際社会に貢献します。



昨年のチャリティーバザーでは約2,133ドルの寄付を実現

■学校説明会 & 個別相談会
10月18日(土)

夏季海外語学研修 inセブ島

●武蔵野東中学校

7月にフィリピン・セブ島で6泊7日の語学研修を実施。現地の講師から毎日7コマの手厚いマンツーマンレッスンを受け、英語力はもちろんコミュニケーション力や積極性も大いに身につきました。滞在中は4つ星ホテルで快適に過ごし、レッスンの合間にはショッピングやプール、観光も。異文化を肌で感じる貴重な経験となりました。



修了式では全員がスピーチを行い、研修の成果を披露

■第3回学校説明会・オープンスクール(5・6年生対象)
10月11日(土)14:00～16:00

アメリカ海外研修!

●八雲学園中学校

アメリカカリフォルニア州サンタバーバラにて、中3全員の2週間研修に加え、夏に高校生の希望者による研修を実施しています。3カ月と3週間のプログラムがあり、今年は高校1・2年生合わせて34名が参加しました。研修中は、UCSB・姉妹校ケイトスクールで授業を受け、ホームステイをしながら、様々なアメリカの文化を体験します。



研修の最後には修了証が授与されます

■文化祭
10月11日(土)・12日(日)
10:00～16:00(要予約)

海外姉妹校へ行ってきました!

●福岡雙葉中学校

本校は、国内はもとより海外にも多くの姉妹校があり、夏休みを利用し、シンガポール姉妹校研修に行きました。現地では、ホームステイや姉妹校で、交流を深め、多くの学びの機会を得ることができました。福岡雙葉は、国際交流や留学制度、英語教育が非常に充実しています。今後も様々な経験を通じて広い視野を持ち進路実現に繋げていきます。



姉妹校の生徒と一緒に観光地巡りも楽しみました!

■入試説明会開催
11月29日(土)10:00～12:30
詳しくはホームページをご覧ください。

★女子校 実践女子学園中学校

〒150-0011 東京都渋谷区東 1-1-11 Tel.03-3409-1771

最寄駅／JRなど「渋谷駅」徒歩10分。メトロ銀座線千代田線 半蔵門線「表参道駅」徒歩12分。
「渋谷駅」から都営バス「国学院大学前」。

ダンスに思いを込めて、みんなで輝く！ 入賞多数の 舞台上で感動を分かち合い、仲間と絆を深める

実践女子学園中学校には、文化系10、体育系9、学術系8、特殊部会・同好会8と計35のクラブがあります。その中でもダンス部は45名が所属し、「Dance Drill Winter Cup 2025」で中学チームがJAZZ部門第1位、高校チームがLYRICAL部門第2位を受賞しました。今回、部員のみさんにクラブの魅力ベスト3を教えてくださいました。

★★★★★
部員さんに聞いた
ダンス部の魅力
ベスト3！

校長先生インタビューは
2ページ、中高大連携特集
は4ページをご覧ください

1位

先輩もOGも優しく熱心に
教えてくれる！



先輩が
ほんとに優しい！
でも本番前は
ビリッと！

中学と高校が一緒に活動しているため、学年を越えて練習するのがダンス部の伝統。先輩は、技術面だけでなく日常の姿勢や行動にもアドバイスをしてくれます。OGの先輩が練習を見に来てくれることも。夏には合宿があって集中的に練習します。本番は1秒でも時間オーバーすると失格なので、時間を守る意識が自然と身につきます！

2位

初心者も大会で輝けるほど
上達できる！



できなかった技が
できるようになるのが
嬉しい！

バレエやチアダンス、新体操など経験者も多くいますが、初心者の部員も少なくありません。それでも練習を重ねるうちに倒立やブリッジなどもできるようになり、大会の舞台上に立てるまでに上達します。演技のテーマや衣装、曲、振り付けは自分たちで決め、練習を重ねるたびに作品が磨かれていきます。厳しい練習を経てステージに立ち、大きな拍手を受けた瞬間の感動は何ものにも代えがたい経験です。

7月には「東京都中学校総合体育大会」や「私立中高協会創作ダンス発表会」に出場し、中学生は33人で挑んだ作品「静かなる誇り」で入賞、高校生は7人で難しいテーマ「沼る」に挑み、観客を引き込みました。全国大会「全日本高校・大学ダンスフェスティバル(神戸)」への挑戦に向けて、部員全員が一層気持ちを高めています。



インタビューに答えてくれた生徒たち。創作ダンス大会作品「沼る」の衣装に身を包んでポーズ！

3位

舞台の感動と文化祭の
歓声が忘れられない！



ステージから見える
景色は一生の宝物！

ときわ祭(文化祭)でのステージや大会の舞台は、ダンス部員にとって特別な時間です。家族や友達の前で披露する喜び、観客からの拍手と歓声、仲間と一緒に踊る達成感。どれも練習の苦勞を吹き飛ばす大きなご褒美になります。ダンスドリルの全国大会で1位を獲得したこともあり、舞台から見える景色やお客さんの反応は忘れられません。部活動を続けてきたからこそ味わえる最高の瞬間です。



INFORMATION

- 入試説明会 ※要予約
 - 10月18日(土) 10:00～ *6年生対象・オンデマンドあり
 - 11月22日(土) 14:00～ *5、6年生対象
 - 1月17日(土) 10:00～ *6年生対象
- 入試体験会(2科・6年生対象) ※要予約
 - 12月6日(土) 8:40～、14:00～ *6年生対象
- オープンスクール ※要予約 11月15日(土) 14:00～